ウは宇宙船のウ

萩尾望都
R・ブラッドベリ

集英社漫画文庫
030
¥300

ブラッドベリSF傑作選

ウは宇宙船のウ

原作／レイ・ブラッドベリ
漫画／萩尾　望都

集英社漫画文庫

★作者紹介★

萩尾　望都

昭和24年5月12日生まれ。福岡県出身。手塚治虫氏の「新撰組」に感動したことがデビューのきっかけとなった。代表作は「ポーの一族」「11人いる！」など多数。表題作のブラッドベリ傑作選「ウは宇宙船のウ」は、昭和53年週刊マーガレット14号に掲載されたものである。

ウは宇宙船のウ

━ブラッドベリSF傑作選━

原作・レイ・ブラッドベリ

漫画・萩尾 望都

集英社漫画文庫

ウは宇宙船のウ

萩尾 望都

R・ブラッドベリ

集英社漫画文庫

Shueisha Manga Bunko

ウは宇宙船のウ

━ブラッドベリSF傑作選━

原作・レイ・ブラッドベリ
漫画・萩尾 望都

集英社漫画文庫

ウは宇宙船のウ
＝ブラッドベリSF傑作選＝
目次

宇宙空港
立入禁止
はやくこいよ!
みろよ ほら!
あれは月まで いくんだぜ!
重力を 断ち切って 飛ぶぞ!
—ぼくたちは いつも
こんなふうに 夢みた ものだった
ひょっとしたら 自分だって——
あんな人物に なれるかも しれないとか
あんなところへ いけるかも しれないとか……
すごいな!
ああ すごいな!

宇宙——
宇宙船——
ウは宇宙船のウ

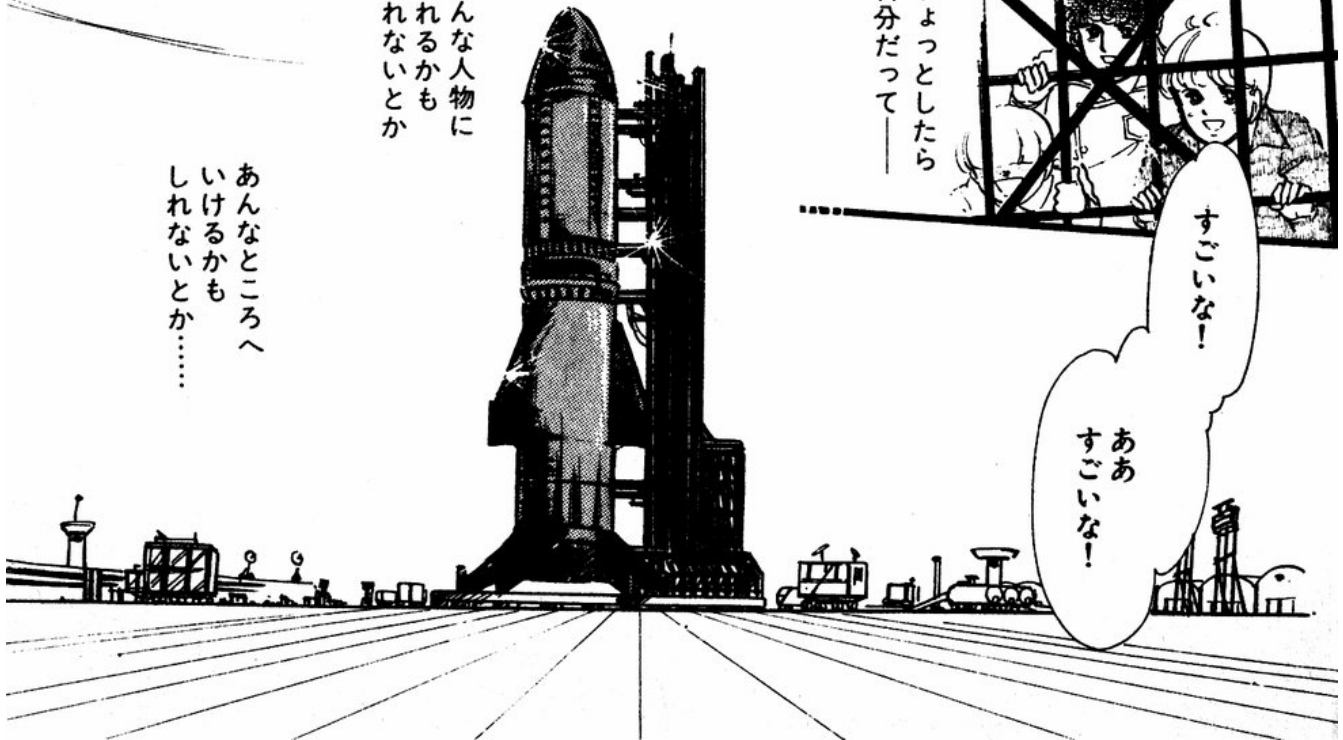
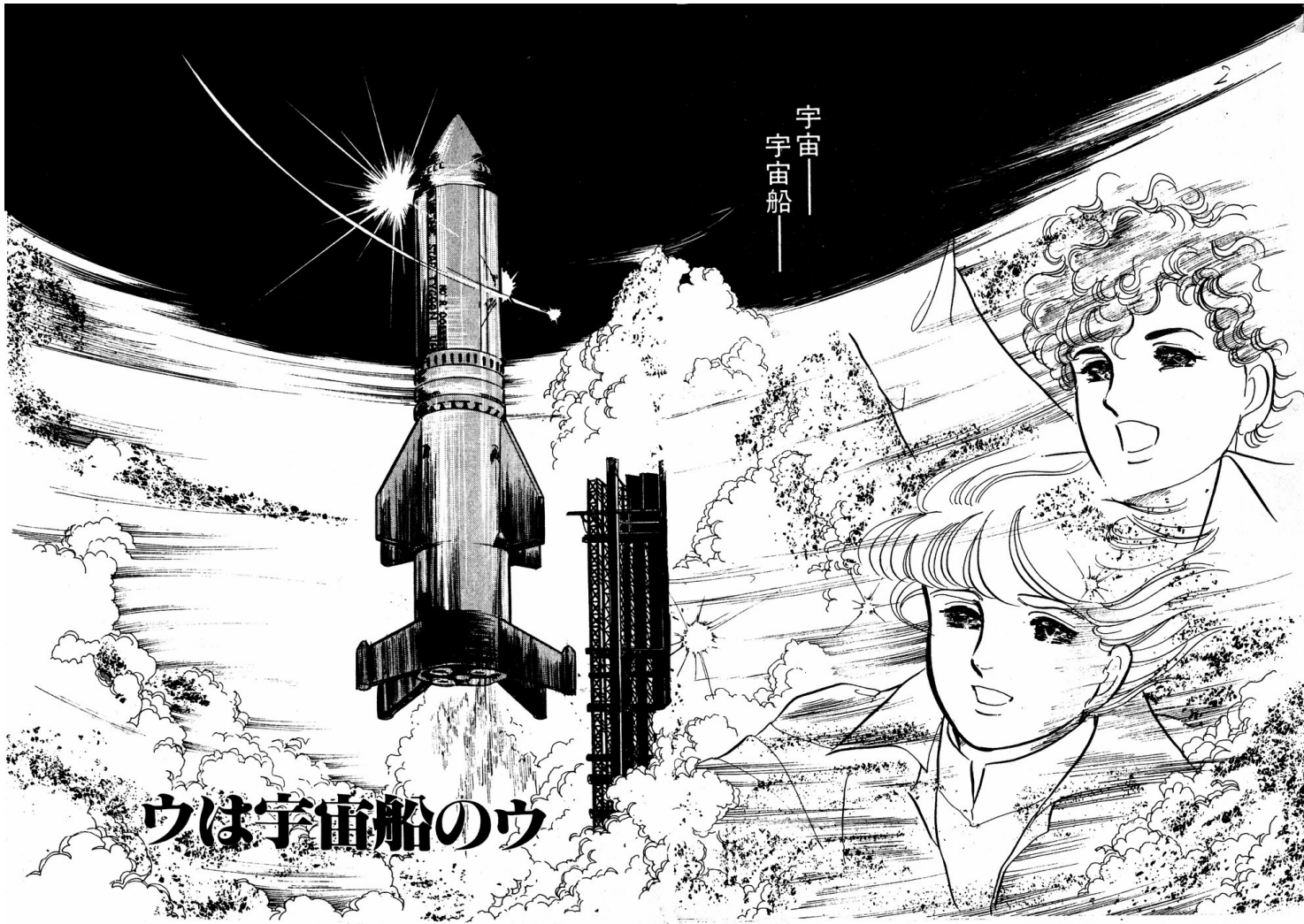
すごいなア…
ああ きょうは特別でっかかったなァ
——ぼくたちは男の子で
男の子だってことが気にいっていて…
宇宙船にのっけてもらえるんなら
なんだってやるのになあ
ぼくだってさ クリス
そうだね ぼくならモノレール1年分定期ととっかえてもいい
——フロリダのある町に住んでいてその町も好きで——

毎週土曜日の朝は
みんなと町はずれの宇宙空港に集まってさわぎ——
さあ帰ってテレビ・ショーを見ようよ
クリス! レイフ!

ん…

学校も好き 木のぼりやつりやフットボールをやり
おとうさんやおかあさんが好きだったものだ

そして…

……宇宙船がもっと好きだった

毎週の
土曜日の朝が
まちどおし
かった
大陸間
宇宙船や
月までいく
やつ
月よりも
もっと遠くまで
行くやつ……
—宇宙船—
もうとうに
それは
ぼくの中で
特別な夢に
なっていた
ぼくと
友人の
レイクに
とっては
ぼくたちは
それぞれに
星がほしくて
たまらな
かったのだ

むん
先週の意味論のテストも
今週のやつも
きみは
しくじった
いったいぜんたい
どうしたね？
クリストファ！
すみません…
きみはクラスの
首席なのに
これでは
精神教育
委員会に行って
きみの等級を
さげなきゃ
ならなくなる
病院に
行かねば
なりませんか？
ぼく
成績がさがる
いっぽうではね
なんだろうね！
悩みの原因は
多分に
単純で
意識的な
ものだと
思うがね？
意識的だけど…
単純じゃ
ありません
多触手状の
ものです——
つまり——
ウ…
ウチュウセン
です
ウは
宇宙船の
ウだね

おい
先生は きみになんて いったんだい? クリス
あれから 勉強が手に つかなくて さ…
いつ?
先週 特別でかい 宇宙船を 見てから さ…
しっかり 勉強しろって 成績が さがったんだ…
ああ もし C・M クリストファの ことですが
ピシャ
……
きみは 学校を 追いだされるかも しれない わけかい?
…… ……
わから ない…
先生はたぶん ぼくに 精神分析 療法が 必要だと 思ってるんだ ……
元気だせよ クリス!
学校なんか 爆破しちまえ
そう すりゃ どっかへ 追いやる わけにも いくまいよ

ぼくらは友だちだ それぐらいの こと したって 悪くはないさ!
ドカン
……レイフは
いいやつなんだ
ほんとに
ぼくんちによりなよ――
シャワーあびて勉強しよう
シュッ
レイフ
きみひとりで?
うん…… これは個人的な問題だもの
ぼくは戦いを始めたぜ
いったい母親は「そんなに食べてはだめよクリス! 目の方がおなかより大っきいんだから」ってなん回いったと思う?
100万回
200万回さ

べつのことばで
いいかえてみなよ
——あんまり
見るんじゃないよ
クリス
体にくらべて
心のほうが大き
すぎるんだから
ぼくは
心を相手に
戦いを始めた
体が
供給できない
ものを
心がほしがるからさ
わかるよ
それならば
ぼくも戦ってる
うん
そうくると
思った
いつも
土曜の朝
宇宙船を
見に行く
遊び仲間たち
——シッド、マック
アール——
彼らは
戦うことは
しないんだ
体をかわし
うまく逃げて
しまう
でも
ぼくらふたりは
そうはいかない…
——
ぼくらは
待つんだ

サァ サワ
——クリス
宇宙航空委員会が
〃選考〃するんだ
きみは
志願できない
待つんだ
……わかっている
そう
きみは
待つんだね
月ロケットを
見ても
冷静でいられる
としになって…
それから
1か月すぎる
ごとに
——ある朝
青い宇宙局の
ヘリコプターが空から
降りてきて……
きみの家の
芝生に
乗務員がおり
きみの家の
ドアの
ベルをおせばと
…望むかぎりはね
USA00

21さいに
なるまで
そのヘリコプターを
じっと待つんだ…
そして―とうとう
20の最後の日には
おおいに
きみは
飲んで
笑って
……
こんちきしょうと
いうんだ
でも
いずれに
せよ
―
本当いうと
きみには
そんなことは
どうでも
よかったのだ
……
ぼくは
こういう失望は
ごめんだな
――ぼくはいま
15だ
きみと同じ
もしぼくが
21になっても
むかえがこな
かったら…
わかってる
わかってるよ
レイフ
まえに
―待ったあげくに
むだだった連中と
話しあったことが
ある
もしも
そんなことが
おこったら――
ぼくらは――
レイフ

気をとりなおして
他の仕事につくさ
酒を飲んで
よそへ行って——
ヨーロッパ回りの
貨物船に
荷物をつみこむ
仕事でも
ガタ
ジェインだ!
ハロー
ジェイン!
きみは
息子のくせに
いつも
ジェインと
呼ぶんだね
母親をさ
うん
ただいま
まあレイフ
いらっしゃい
こんにちは
ジェインおばさん
どうしたの?
顔色が悪い
ようだわ?
そう?
べつにー

おまえまた
宿題を手伝って
もらっているのね
今夜は家へ
とまっていく?
レイフ
…ステーションへ
もどらなきゃ
とまれよ
…じゃ先に
ステーションの用事を
すませてくるよ
1時間で
もどるから
レイフ
ブライオリは
両親がいない 彼は
ステーションで
養育されているのだ
片親でもいる
ぼくは
恵まれている
元気な
いい子ね
―でも
あなたたち
なにか
あったのね?
きょう電話が
あったのよ
わたしの
仕事場に
学校の先生からと
それと
もうひとつ…は
…いまは……
いえない…いいたく
ないのよ
それ…電話って
…ぼくのことで?
ジェイン

クリス
おまえはまだ若いのよ
――とってもね
ジェイン
おまえ…おとうさんを知らなかったわね…
知っているよ
ジェインが話してくれたことは
…
……どんな人だったか
地下にある化学研究所で働いていたんでしょう?
おとうさんはずっと深い地下にいらしたのよ
クリス
だから…星をごらんになったことがなかったのよ
……おかあさん

―あれは露を
かきわける機械の
うなりだ
いつもの朝の
レイフ…?

おばさんに
用を
たのまれたので
出かける
学校で会おう
レイフ

用…?
こんな朝
はやく?

クリース!
学校に
遅れるぞォ
やァ
いまい―くよ

だめよ
クリス
!!

きょうは
あの人たちには
先に行って
もらいなさい!

ごめん!
先に行ってて
くれよ…
あとで!

ジェイン……！
レイフはどこへ行ったの？
お使いをたのんだの
けさあの子にこの家にいてほしくなかったのよ
…じつは朝はやくに、電話がまたあって…
電話？どうして？きょうは学校へ行ってはいけないの？
――クリス
ブーン
ブーーン
まさか！
まさか！
パラパラパラ
ヘリコプター……宇宙局の!?
とおりすぎるだけだ――だって――

──だって！
きみがここにいたらいいのに！
レイフ！
C・M クリストファくん 宇宙局のものです
レイフ！ どうして？ どこに行っちまったんだ！

チッチッチッチッ
……最高級で IQが高い 知覚は第1級 好奇心は超1級
――はい
宇宙局で8年にわたる教育訓練に必要な熱意がある
そういった先生方との話し合いで――
きみは選抜されたのです
――はい
土曜の5時に宇宙空港まで申告にくるように なお 必要なものはこちらで供給されます
いいですか
きみは選抜されたことをだれにも話してはいけない
だれにも――?
もちろんおかあさんと先生方は当然知る
なぜというにこれは心理的な保護なのです

地球上の
数10億という
青年たちの
中から
毎年約
1万人が
選抜され
ます
1万人のうち
3千人が
がんばって
8年後には
飛行士に
なるのです
あとのものは
社会に
復帰する
さいしょの6か月で
きみはためされる
この仕事に
合わないとわかれば
手を引いて
出なおさねば
ならない
帰って
友人たちに
世界一の
大きな仕事を試みて
失敗したと
白状するのは
つらいことだ
だから
知らせるには
およばないの
です
とくに
きみの親友には
ないしょにしなさい
これはべつの
理由からですが
志願者の動機が
子供によくある
仲間を
牛耳るための
つまらぬ見栄から
でたものはだめだからです
やむに
やまれぬ気持ちから
どうしてもと
志願した場合は
うまくいきます

係官どの
ぼくにひとり友だちがいるんです——レイフ・ブライオリといって整形外科ステーションに住んでいます
その子の等級はむろんお話できないが当局のリストには載っています
ステーション育ちはまずいな——でも成績を調べてみましょう
おねがいします!
ではこれで
しつれいしましたおくさん
ブーン
まあクリスクリス!!
ブーン

すばらしいわ！
うん！
ぼくはやるよ！
きっとやるよ！
――約束するよ
……！
レイフにどうやって話そう！
でかけるっていうだけでいいのよ
…それだけ
ジェイン…！
あなたはひとりぼっちになってしまう
レイフがここにいてくれるわ
わたしにそういってほしかったんでしょ
…ジェイン！

つまり——
クリスが ヨーロッパで 教育を 受けることに なったの
留学は 1年——ぐらいか もっと…
出発は はやいの 土曜なのよ
彼が もどるまで あなたに 息子として この家にいて ほしいのよ
ジェイン おばさん
ぼくは感激だ ——光栄だ
クリス ぼくらとても ゆかいで 楽しかったね
—レイフは
ヨーロッパの どことか こまかいことは まったく聞かな かった
——そうさ レイフ
ぼくらはとても ゆかいだった
そしていつでも ひとりで戦いを 始めなければ ならないんだ

ねえクリス
荷づくりはすんだのかい?
たいしていらないいんだ
きみは世界一の仕事につく
いずれ きみは世界のものになるのだ
がんばれよクリス
クリス電話よ
先生!
元気でな
きょうが最後…
クリス
あすは5時に宇宙局だ
ジェインやレイフとすごす夜もこれっきりなんだ
これきり

まだ起きて
いるかい…?
うん
考えごと?
うん…
きみはもう
待たなくても
いいんだね?
ねむいんだ…
……ぼくは
きっと
そうだと
思った
ポン!

あれは
天気調節装置のうなり
霧を追い払っている
いつもの朝だ……土曜日の
土曜日だよ！クリス！
宇宙船見にいこうよ！
はーやーく
あの連中にきみはきょうはいかないっていってやろうか？
そんなことはなんにもいわないことよ
でかけるのいつもの土曜のように
きょうはずっとあなたといっしょにすごそうと計画していたんだジェイン
まあそんなことをしたらどうなるかしら
さあさっさと食べて！
行ってらっしゃい！

はーやくクリス！
モノレールがでるぞ！
きょうは…やめようよ行くの
へえっ
クリスが行くのやだって
なんでだよ行くだろ！
うそだあ！
クリスは行かないよぼくも行きたくない
毎週行ってるからあきあきしてるんだ
でも来週なら行ってもいいやねクリス
ん…
じゃ来週さぜったいだよ？
きみらが行かなけりゃおもしろくないや
じゃきょうはどうする？
きょうは…
ガンけり木のぼり裸で水あそび
忘れていたいろんな遊びをやろう
——きょうかぎり

きょうかぎり——
もう帰るの？クリス まだ4時だよ
うん
じゃ今夜はどうする？
8時に呼びにきてくれよ
新しい映画見にいこう！
オー・ケー！
クァ
ただいま あれ おばさんは？
どこへ行ったんだろう きみが出発するのに
いいんだ
いないような気がしていたんだ
…ビデオカセットの手紙が置いてあった
クリスへ
カチリ

ビーン
…わたし
わかれが
つらいのよ
クリス
…研究所に
仕事で
行ってます
元気でね
なによりも
いとしいと
思っているわ
こんど会うときは
もうおとなね…
ツー
わたしわかれが
つらいのよ
クリス
行ってきます……
元気でね
いとしい…
わたし
わかれが……

きょうは
おもしろかったね
クリス！
ああ
来週の土曜に
また会おうな？
……
うんといえ
こいつ！
いつもどおりさ
うん！
うん！
…おかあさんを
たのむよ…
ぼくらの…
もちろんさ
ぼくは待つよ
これから
待つつもりだよ
クリス
きっとすぐだよ
レイフ
ポン
トン
ピピン

ステーション
宇宙空港前
あれはもう
あこがれでも
夢でもない
……
ぼくがそれの
一員になるんだ
C・M
クリスト
ファ!?
は…はい!
さようで
あります!
申告に
きました
こちらへ
クリストファ
カチャ

門をとおって
塀の向こうへ――
……いつも
あんな人物に
なれるかも
しれないとか
あんなとこへ
行けるかも
しれないとか
ぼくたちは
男の子だって
ことが
気にいって
たし
町が
気にいっていたし
フットボールも
学校も好きで
友だちも
おとうさんや
おかあさんや
そして　月や火星や……！
おかあさん
レイフ――
――さようなら
またいつか――
ぼくはきっと
帰ってきます――

泣きさけぶ女の人

マーガレット
アイスクリームを
買ってきて
はぁい
だれでも
ふつうの町に住んでると
恐ろしいことが
おこるなんて
思いません……
たとえば
だれかが
女の人を殺して
うちの裏庭に
埋めたりなんて
———まさか
信じられないでしょう

アイス
クリーム
バニラに
チョコレート
ひとごろし……あー
あー

ガタッ
ママ！
ママーーーッ！

アイスクリームあった？
ママ
あのねそこの空地にね女の人が埋められてるわ！

ただいま！お昼はまだかい
お帰りなさいすぐよ
ママ！その人だしてくれってさけんでるの！

ねえ聞いてほんとうのことなの空地にきて！
あとにしなさい食事だから

ママ！あとじゃまにあわないわ！
あたしのいうこと信じてよ
信じてますよ　すわって

ねえはやくほりださなきゃあの女の人死んじゃうわ！埋められてるのよ！
あなほりごっこかこの暑いのに
マギーちゃんと食べなさい！

女の人が埋まって……！
いいかげんにしなさいききわけのない子ね！
……
パパねえ
いっしょに空地にきて手伝って
お願いよ！わたし1年かかってためた貯金ぜんぶあげる5ドルちょっとあるのよねえ
ほうマギー！
おどろいたねえ
パパと遊びたいのでお金をだそうというのだね？
いつもかまってやらないから——
こいつはパパが悪かったよ
あとでそのひめいを聞きにいこう無料でいいよ
パパほんと
マギーがいい子でだまって食事をすませたらね
女の人のひめいっていえば
ゆうべまたチャーリーとヘレンけんかしたんですって
マギーゆっくり食べなさい
ハイ
あのふたりいつもけんかしてるんだ

チャーリーは
短気で
かんしゃくもちよ
ヘレンはよく
あんな人と
結婚したわね
ぼくのために
歌をつくって
くれたんだ…
文化祭でヘレンが
女王役やったとき
だよ
あの夏
ちょいと
つきあってたの
しってるだろ
チャーリーには
すぎるよなあ
彼女は
きれいで
やさしくて…
むかしヘレンは
学生のころ…
まあ！
歌の話なんて
いっぺんも
聞かな
かったわ！
ええ　ヘレンは
きれいだったわ
男の子はみんな
さわいでたわね
ヘレンは女優などに
あこがれてたんだよ
夢見がちすぎて
ついてけなかったけど
………
でもあれは
いい歌だったな…
パパ…パパ
昔の歌を
思いだしてるんだ
だれにも歌って
聞かせた
ことは
ないんだ
どうだい
パパの歌
聞きたい
かい？
空地が
さきよ
パパ　はやく
やれやれ
この暑いのに

なにも聞こえないね…
さっきは聞こえてたのよ
ねえ
そこにいるんでしょ女の人
女の人は土の中でねてるんだろ
パパ！ここ見て地面をほりかえしたあとよ！
うんこいつはケリーさんが昨夜穴をほってゴミを埋めたとこだよ
ボッ
暑いな！シャワーをあびるか！
おいでマギー
パパ！ほって！きっとだれかが夜中にきて穴に女の人を埋めてもとどおり土をかぶせたんだわ
そんな暑いとこにいつまでもいるんじゃないよ
ん
もう
どん！

あー
あー
たすけて
あ
パパ
パパ
きて
あの人
つかれて
休んでたのよ
またひめいが
しはじめたの
よーしよし
マギーおいで
さあゆっくり
気分を休めて
あんまり
こうふんしちゃ
いかん…さあ
ねえ　あの人
死んでしまうわ
わからないの?
たすけて
あげなきゃ!
どこのだれか
わからないし
どうして
埋められたか
しらないけど
パッ
パパ!
いいかい
ねてるんだよ

パタン
カチャ
カチャ
カチッ
マギーは？
いや この暑さで少しのぼせてるんだろ
ギシ
ギシ
ホッ
タタタ

まってて
聞こえる？
いまほり
だしてあげる
あ…あ…あ…
でも
まにあう
かしら
ザザッ
フゥ
ハァ
だれかにたすけを
もとめたいけど
あいてにして
くれないわ
ああ
はぁ
はぁ
やあ
マギー
なにしてんの！
デビィ！
よかった！
手伝ってよ
ほるの
なんでそこ
ほってんのさ
女の人が
埋められてるのよ
へー
すげえ
ううん
ひめいが
聞こえない？

ほら

すげえや!
マギー!
いつのまに
おぼえたの
腹話術!

手つだったら
おしえて
くれる!?
もちろん
あとで
おしえて
あげるわ
ほって!

うまいなあ!
ほんとうに
地面の下から
聞こえてくる
みたいに
鳴らせるん
だね
あ
この女の人さ
名まえなんて
いうの?

名まえ…?
さけぶ女に
名まえつけてん
だろ?
ええと
ええと

名まえは
ウィルマー!
お金持ちの
年よりで
スパイクという
犯人に
埋められたの

エジプト王女にしようよ！ぼくらはピラミッドの墓どろぼうなんだ
デビィ！どこにいくの

なにをするの
ガラガラ
宝物だよそうだ看板つくろうよ！

そんなのいいからほってよ
くたびれたあ！家に帰ってねようかなァ

デビィ！ほんとうに本物の女の人がひめいあげてるのよ！
聞いてよ！わたしこっちに立ってるから！

あれっ？
ア

ほんとうにだれかのひめいみたいだね？
じゃだれがこんな中にいるんだろ？
ほんとうよ！さほって！

ネルソンさん？ターナーさん？
若い人かな
年よりかな
しらないわ
ザク

ねえ！ただのラジオが埋まってんのかもしれないぜ！
いいじゃないない！ラジオだったらあんたにあげるわよ……！
おい

わしの
土地で
なにをしてるんだ
ケリーさん
あ
穴なんか
ほって！
ケリーさん
女の人がここに
埋められてるの！
ほら！
ひめいよ！
聞こえる
でしょう！
あ…
聞こえんね！
そんなもん！
いいから
すぐに穴を
もとどおりに
するんだ
いたずら
ものどもめ！
あ
ザッ
ザッ
ようし
家に帰るんだ
ガキども

…彼よ！
あの人
ゴミの穴を
ほったふり
して…
奥さん殺して
埋めちゃったのよ！
箱にいれて！
だって
ひめいが
聞こえたのに
しらんぷり
してたわ
わあ！
そうだ！
ケリーの
奥さんか！
中で生き
かえった
んだね
そうよ…さあ
警察に
しらせなきゃ！
カッ！
ケリーさんですね？
はあ？
そうですが？
奥さんは？
アンナ
ですかい？
おーい
おまえ！
なあに
あなた

わっ
奥さん
生きてるよ！
…生きてる？
こらーっ
おまえら！
性悪め！
あんたも
まったく
すいませんどうも
奥さんが埋められてるってあの子たちが…
一応確認しないと…
わあ
どうしよう
ぼくもう
ケリーんちに
近づくのよす
じゃ あの
泣きさけぶ女の人は
だれかしら？
ああ
だれでも
いいよ！
そうだたしか
ケリーのおやじ
耳がとおいんじゃ
なかったかなァ
じゃ
あの
ひめいが
聞こえなかったのね
ぼく帰る！
きみの腹話術の
おかげで
とんだ目にあった
バイバイッ
うそをつく
つもりはなかったのに
うそになって
しまった

警察はうちにいったかしら
パパはあたしをさがしてるかしら
もうあたしもとじこめられて死んじゃいたい!
あ
だして くるしい
あ
たすけないと
タタ
はやくたすけないと
こんにちは!あのスミスさんおたくでだれか行方不明になった人いません?…
あらマギー
いいえ?
こんにちは!グリスさん奥さんお元気?
おやマギー
はあ はあ
いそがないと女の人の箱の空気がなくなるわ
いそがないと!
だれなの!? あの中にはいってる女の人はいちど殺された女の人は!

ヘレンさん――あの奥さんいます？

いや！買物にでてるよ

じゃまってます
暑いですね
あの女の人まだ生きてますように…

ううん買物にいってそれからニューヨークの実家にいくとかいってたからな

ポロ
たばこが落ちましたよ
ああ
それほんとうの女の人なのよ
…でもほんとうかなマンドレイクの根っこじゃないか?
マンドレイク?
植物さ…根っこが二股になっていてね引っこぬくときキャーッキャーーッてひめいをあげる人間のような
…ふうん
おもしろいだろう…ハハ
…ええとマギー
そのさけぶ女の話…だれにもしゃべらなかった?
いろんな人に話したわ
ボッ
でもだれも信じてくれないのよ

ハッハッハァ！
そうさ
きみは子どもだもの子どものいうことなんかだれも信じやしないさ
あたし
これから帰って
ほり出して
あげるの
ゆっくりしておいきよ
ありがと
でも
いかなくちゃ
まあ
急ぐことはないよ
トランプでもやろうよ
さあ
でも
そのうち
ヘレンが
帰ってくるさ
ほんと？
そうさ！
……その声
大きな
声だった
かい？
…だんだん
小さくなって
いくみたい
だったわ
フフ
女のひめいか
子どもってへんな
遊びをするなあ
あの
もう
おそいから
……
もう1回
やろうぜ

声が小さく
なってゆく

箱の空気が
にげてゆく

だれか…

ああ……

だして…

ああ…

だして…

ああ……

とうとう
ヘレンは帰らな
かったなあ

マギー
じゃまたな
バイバイ

……

どうしよう！

この人きっと
真夜中に
あの人を
ほり出して

どこかへ
つれてって

こんどこそ
殺してしまうわ

どうしよう！

ああ
なにも聞こえないわ
かわいそう
なにも聞こえない
死んでしまったのよ…
……
ごめんなさい、女の人
……
……
歌ってるわ…
歌ってるわ
とても小さな声で…
……
愛してたのに…
好きだったわ…
とても
好きだったわ……
空気がないので
もうろうとしているんだわ
ほり出しさえすれば気がつくのに
…愛してたのに…
あなた…

パパ 女の人 もう 泣きさけんで ないわ
いいかげんに しなさい！
とても 好きだったわ あなた
あんなに 愛してたのに……
マギー！
やっと帰って きた！ ああ！
なんて子だ！
地面の下で いまは 歌ってるの
その歌を …どこで 聞いた!? その歌は…
埋められた 女の人が 歌って るの
それは…むかし パパがもらった 歌だ！
だれにも歌って きかせたことは ないんだ！
とても 好きだったわ あなた……
あんなに 愛してたのに…
ヘレン！
ヘレン ああ！ なんてことだ！

つぎに見ると
空地はおとなたちで
いっぱいでした
みんなでほって
いました

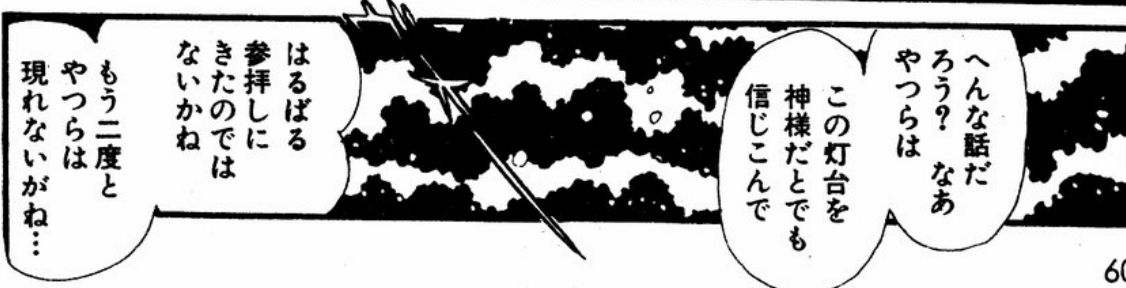
よかった
とても
好きだったわ
あなた
かわいそうな
女の人

ほんとうに
ふつうの町に
住んでると
信じられないいんです…
まさか
裏庭に
女の人が殺されて
埋められた
なんて……
あんなに
愛して
たのに……

霧笛

オオオオオオ……
…さみしい暮らしだが

もうなれたろう？
どうだいージョニー？
明日はきみが
上陸する番だな
さらばしばしの
灯台暮らし
女の子とダンス
かるくジンでも
ひっかけて
いいなァ
でもマックダン
ぼくがいなくなって
ここでひとりに
なってしまったら
どんな気分に
なります？
ええマックダン
あなたが
…話上手だから
このさまざまな
海のふしぎの中で？
まあここは…
さみしい場所だ
陸からは
2マイルも
へだたり
その
沿岸には
町ひとつない
路が一本
通ってるきり
岬を回る船影も
遠くめったに
見えないしね
さまざまな
海のふしぎ…な
できごと…か

…そう
海ってのは…
むかしえらく
大きな
雪片だったの
かもしれ
ないね
あの変化
あの色あい
同じものは
ふたつとない
ふしぎだな
そう 数年前だがね
ジョニー ある晩
たくさんの魚がね
この入江にやってきた
なんだろうね
ひたひたと
水うちながら
魚の群れがさ…
水面から
目をあげて
……じっと…
こわごわと
灯台の光を
見てるのさ
いったい魚どもには
この高い灯台が
何と見えた
ことか?
赤・白・赤と
点滅する光が
何と見えたか?
もう夜半すぎて
コソとも
音をたてずに
1匹残らず
いなくなった
へんな話だ
ろう? なあ
やつらは
この灯台を
神様だとでも
信じこんで
はるばる
参拝しに
きたのでは
ないかね
もう二度と
やつらは
現れないがね…

マックダン？
……とにかく海にはいろいろなものがふんだんにある
なにせ
古い世界だからね
…われわれ人間よりも古い世界だからね…
おれたちがそのふしぎを手に入れるまでには
まだ何百万年もかかるだろうな…
海底ではいまでも紀元前30万年前と同じ状態なんだ……
陸の人間がラッパ吹き首切り行進してるあいだ
魚や海のものたちはそんなふかい海底で
はるか昔から暮らしていたんだ
……ええ
古い世界ですね
ジョニー……ちょっときたまえ
今日話そうと思ってたとっておきの話があるんだ

ヴオオオ
ヴオオオーン
まるで動物だな
夜鳴きする
大きな
動物だ
時間
百万年という
時の果ての
現在に腰を
おろし
「おれは
ここにいる」
「ここにいる」
「ここにいる」と
鳴いている
そうすると
海の底が
返事をする
……
返事を
する

ジョニー
きみはここにきて
もう3か月になる
……それで
覚悟してくれ
毎年この時季
この灯台を
訪れるものが
あるんだ
魚の群れ？
いや
べつのやつだ
おれの頭が
おかしいと
思うだろうな
だから
話すまいと
思っていたが
…そうも
いかん…
おれのつけた
カレンダーに
よるとそいつは
今夜やってくる
オ
何です？
いったい
ジョニー
もし
そうしたけりゃ
明日にでも
荷物まとめて
モーターボートで
陸へあがり
車とばして
遠い町へいって
毎晩電気つけて
暮らしてもいいんだぜ
おれは
なにも
いわんから
な
ガ
オ
…もう3年も
前からさ　だが
証人になってくれる
人間がいるのは
今晩が
初めてさ
マックダン
もう少し
まってな

ヴオーーーオオオオ
…むかし
ある日
男がひとり
やってきて
その岬の
波のどよめく
陽のささぬ
浜辺に立って
こういった
「…この海原ごしに
呼びかけて
船に警告してやる
声が要る
その声を
つくってやろう
……」

これまでにあったどんな時間
どんな霧にも
似合った声をつくってやろう
たとえば夜ふけてあるきみのそばのからっぽのベッド
訪うて誰も人のいない家
また葉のちってしまった晩秋の木々に
似合った…
そんな音をつくってやろう…

鳴きながら南方へ去る鳥の声
11月の風や…
さみしい浜辺によする波に似た音
そんな音をつくってやろう
それはあまりにも孤独な音なので誰もそれを聞きそらすはずはなく
それを耳にしてはだれもが心ひそかにしのび泣きをし
遠くの町で聞けばいっそう我家があたたかくなつかしく思われる……
そんな音をつくってやろう
おれは我と我身をひとつの音ひとつの機械としてやろう
そうすればそれを人は
霧笛と呼び

それを聞く人はみな
永遠というものの
悲しみと
生きることの
はかなさを
知るだろう
…こいつは
おれの
つくった
つくり話さ
なぜやつが
やってくるのか
そのわけを
考えてみたんだ
…思うに
霧笛
が…
でも
マックダン
……シッ！

ギ
ガッ
ギギ

ザザザ

おちつけ!
はっ
は?
あ!
あ!
!?
あれ
あんな
きみょうな
き き
き き
きみょうな
あれは
きみょうでも
なんでもない!
ジョニー!
ジョニー!
きみょうなのは
おれたちさ!
あれは
千万年前の
姿とちっとも
かわらない!
かわって
しまったのは
おれたちだ!
おれたちの
ほうなんだぜ
!
恐竜…
だな?
ああ!
死にたえて
しまった
はずなのに!
かくれて
いたんだ

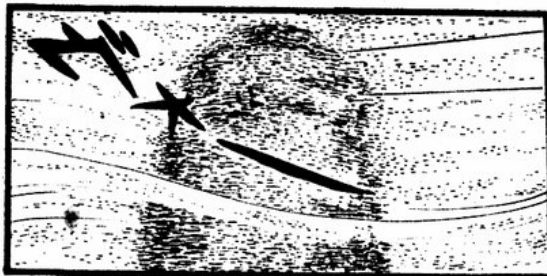
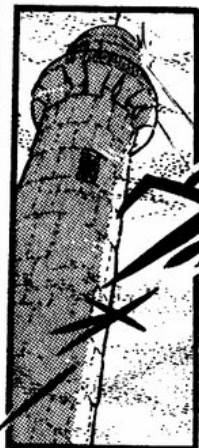
深海に
海のおくの
おくの　おく
……この世の
闇と深さと
冷たさを
結集した
ような
一番ふかい
おくそこに
……
マックダン！
どうしましょう！
どうも！
逃げるわけに
いかんよ
われわれには
任務がある
それに
ここにいたほうが
ずっと安全だ
百フィートは
あるぜ！
速いだろうな
でも
でも
なんだって
あれはここへ
くるんです
なぜここへ…

…霧笛が
霧笛が呼ぶんだ

やつは遠くからきたんだ
遠く……
ふかいところから
千マイルもむこう
20マイルもふかい海底から
…百万年もの時をへて……
そんなに長い間待っていた
あれは最後の1匹だ
ジョニー……きみなら
百万年も待てるか？
…ここに5年前に人がきてこの灯台を建てた
そして霧笛をそなえつけ
どうきみ
きみはねむっている
それを鳴らすんだ
ふかい海の底で
遠い世界の夢なぞを見ている

むかし
きみの同胞が
千匹もいた
ころの夢
いまこの世界に
きみのいる場所は
ない
きみは
かくれて
いなけりゃ
ならない
…そこへ
むけて
霧笛を
ならすんだ…
ウォォォ
ウォォォ
それは
ウォ
ひびいては消え
ひびいては消える
きみは
目ざめ
ゆっくりと
動きだす

あとどれほどの
時間が要る
ものか
水圧に体を
ならしながら
すこしずつ
すこしずつ
上昇する
いっぺんに
上がったら
体がはれつして
しまうからね
3か月ほども
かかるだろう
海面に
やっと出て
その上
つめたい
水を
千マイルも
こえてくる
いく日も
いく日も
かかって
そして
やっと
やってくる
やって
くる
……
…あれは
まっていたんだ
なんと
長い間

地球が変化し まわっている間 なにもかもが 死にたえ 生まれ かわって ゆく時の中
けっして 帰らぬものの 帰りをあれは まっていたんだ
去年は この周辺を 一晩中 泳ぎ回ってた
あまり近くへは こなかった
まごつくか こわがってたか
長旅をさせられて 少しおこったの かもしれん
ところがあくる日は カラリと晴れて 青空さ
で やつは 帰っちまって こなかった
彼は考えたのさ この1年はじっくり 十分日を選んで やってきた
きみの人生なんて そんなものさ
二度と 帰ってこないものの 帰りをまっている
あるものを
それがきみを 愛してくれるより ずっと ずっと 愛している!
ところが

しばらくするとそいつを滅ぼしたくなっちまう！自分が二度と愛するもののために傷つくことのないように！

何がおこるか見てやろう！
マックダン！

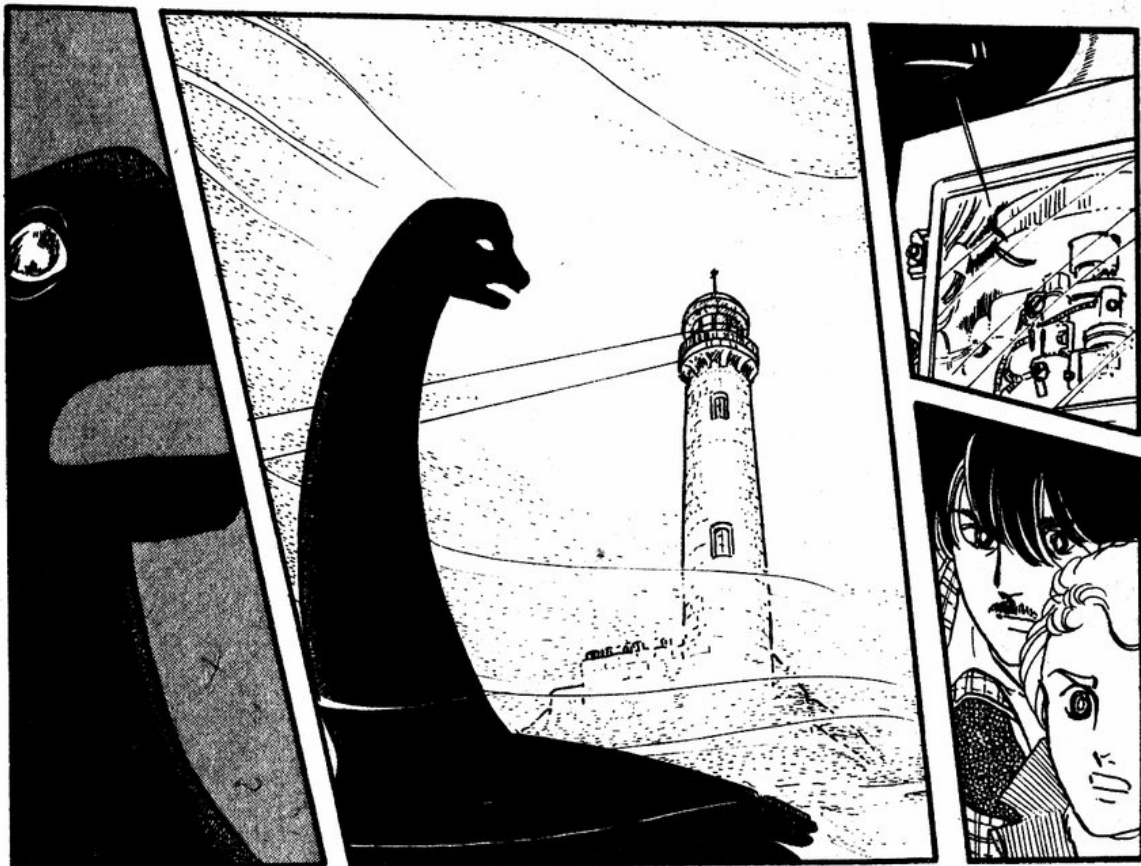
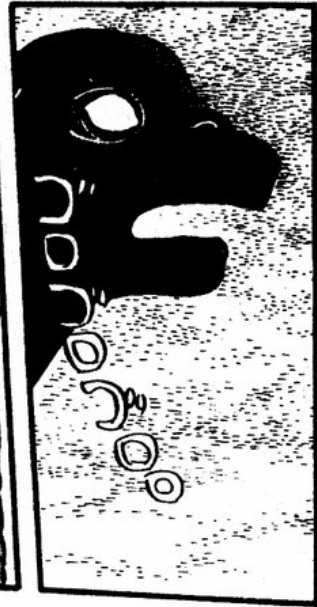
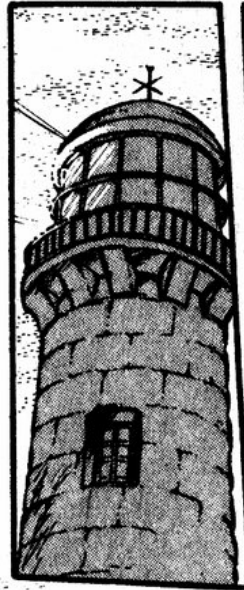
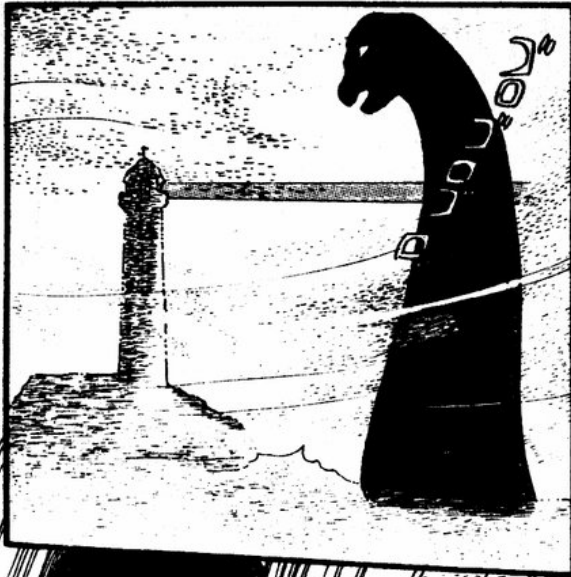
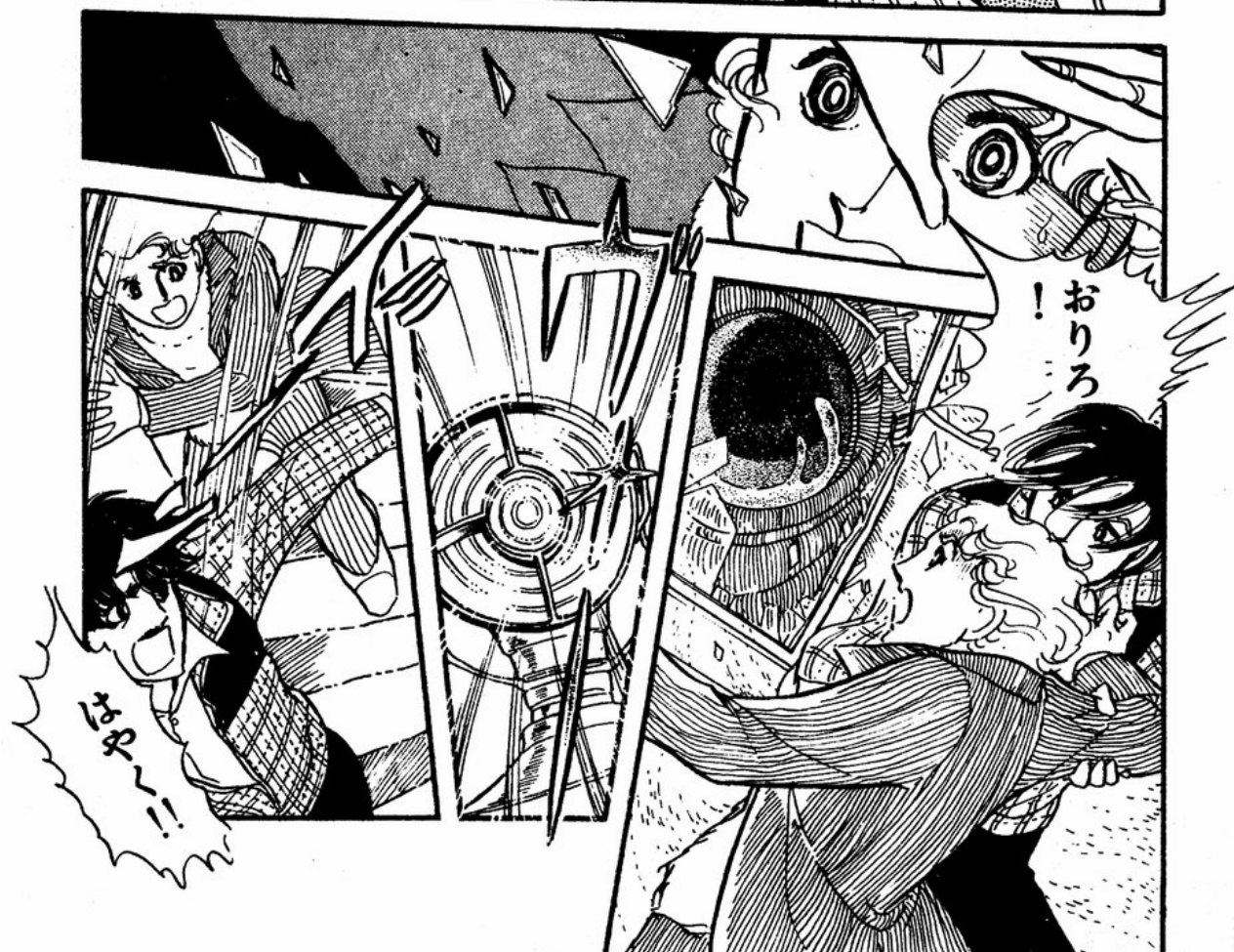
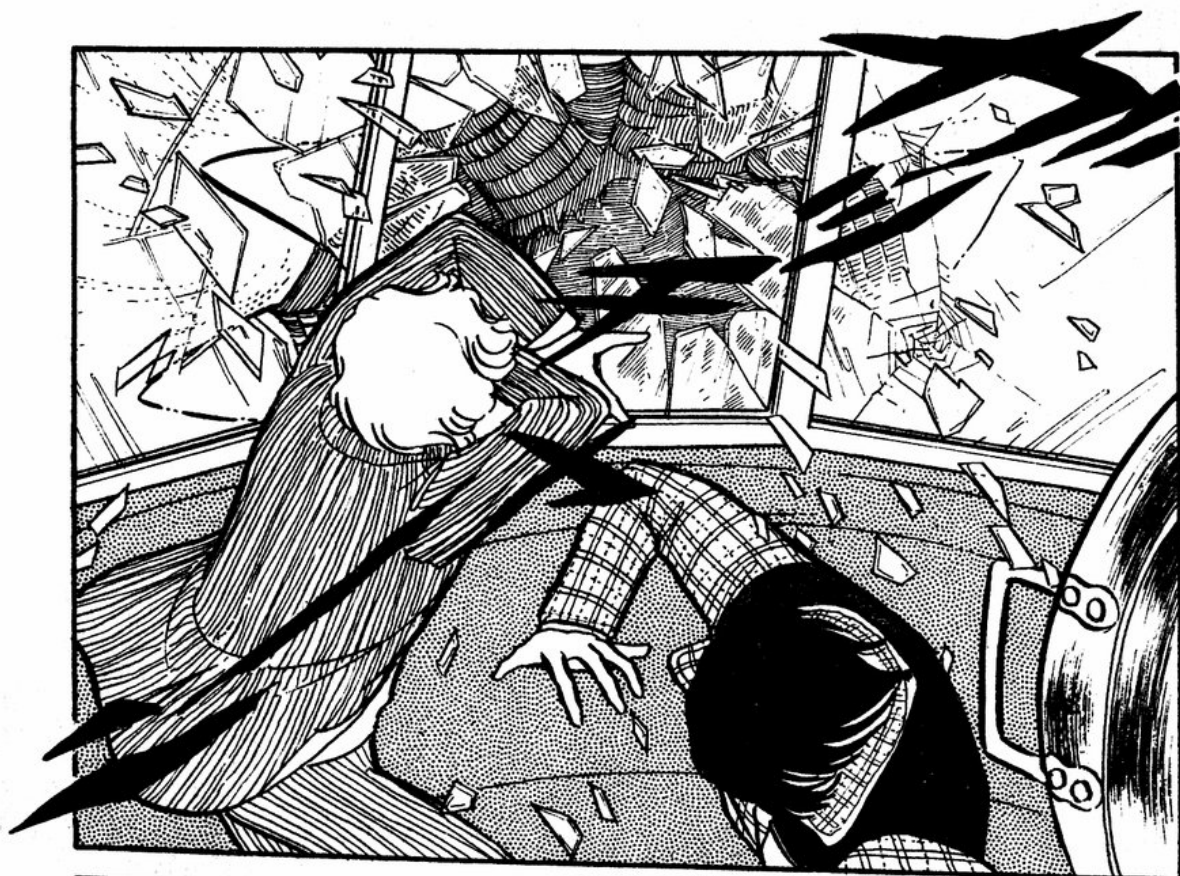
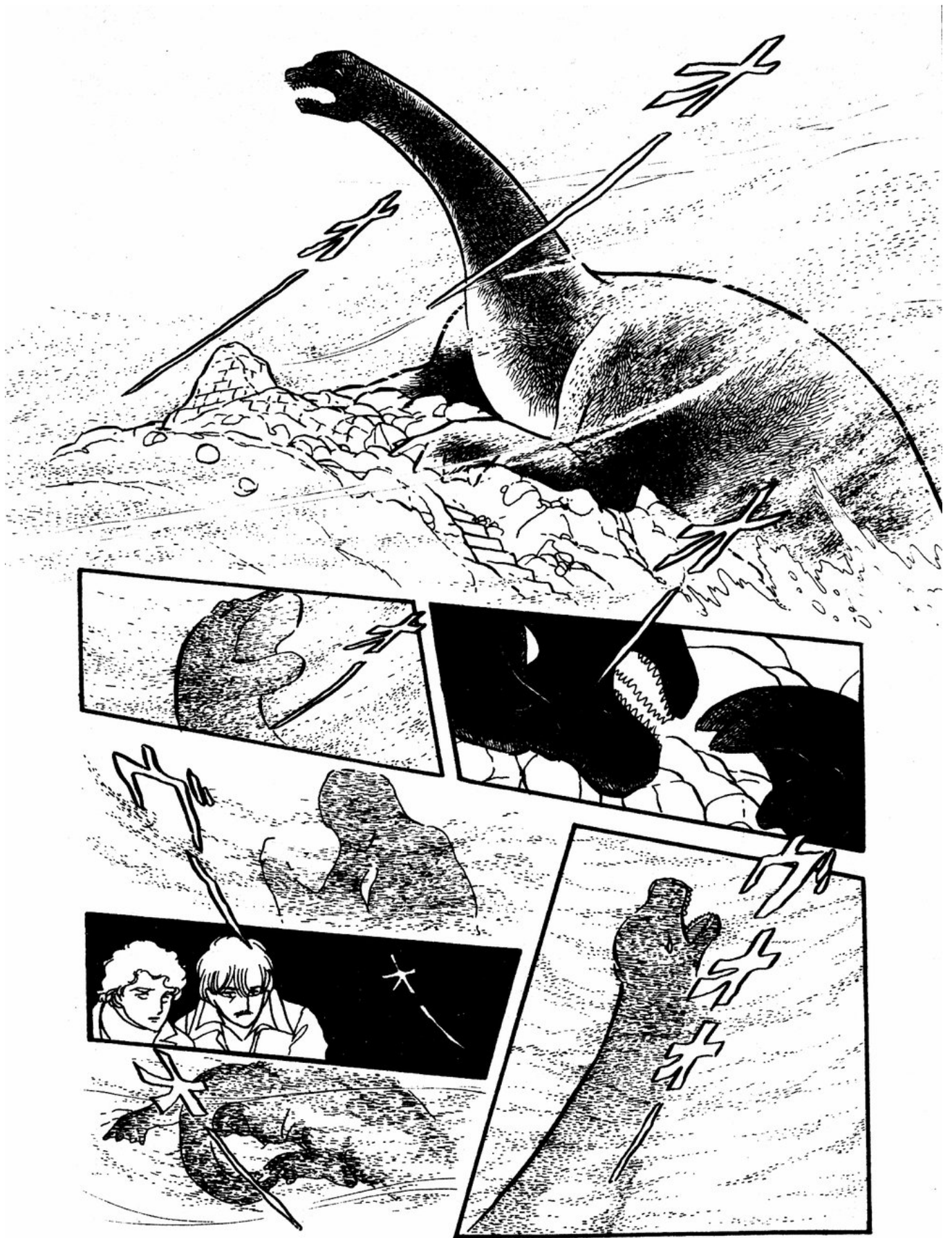
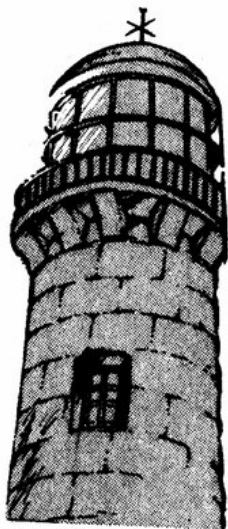
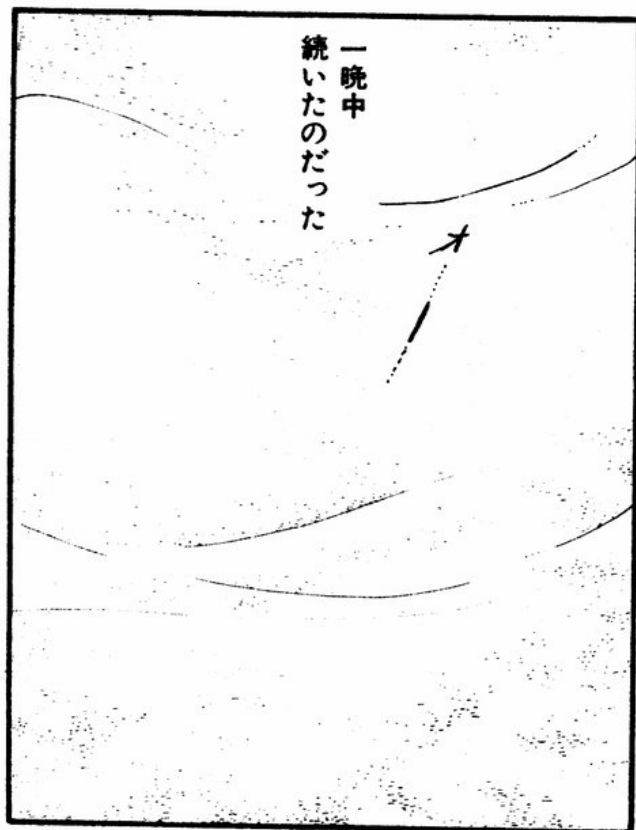
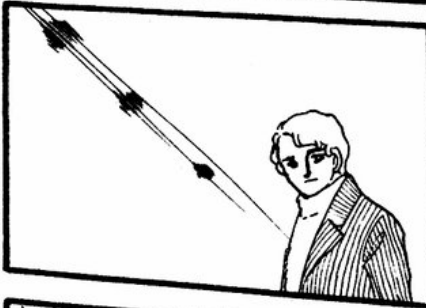
ゴロゴロゴロ
ゴロゴロゴロロ

爆弾のスイッチを!!
マックダン

おりろ！
はやく!!

地下室へ

ジョニー
ジョニー

オー
オー
ウォオオー

…霧笛がなっている
今夜遠く岬を回る船は聞いたろう
そら…寂漠岬の灯台の霧笛がなっている
こちらは万事異常なし
それは
一晩中続いたのだった

翌日の午後には
救援隊がきて
地下室からぼくらを
救いだしてくれた

ええ…

あれは…？
いっちまったよ

ふかい海の
おくそこへ
ねえきみ
この世の中では
なにをいくら
愛しても
愛しすぎることは
ないいって…
そう思うね
…ああそうさ

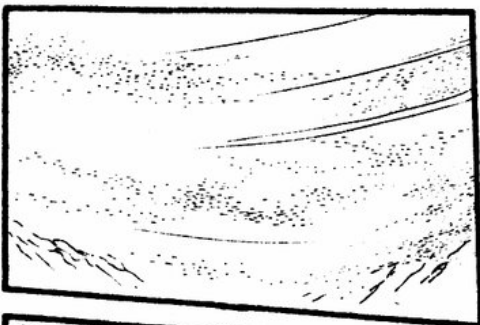
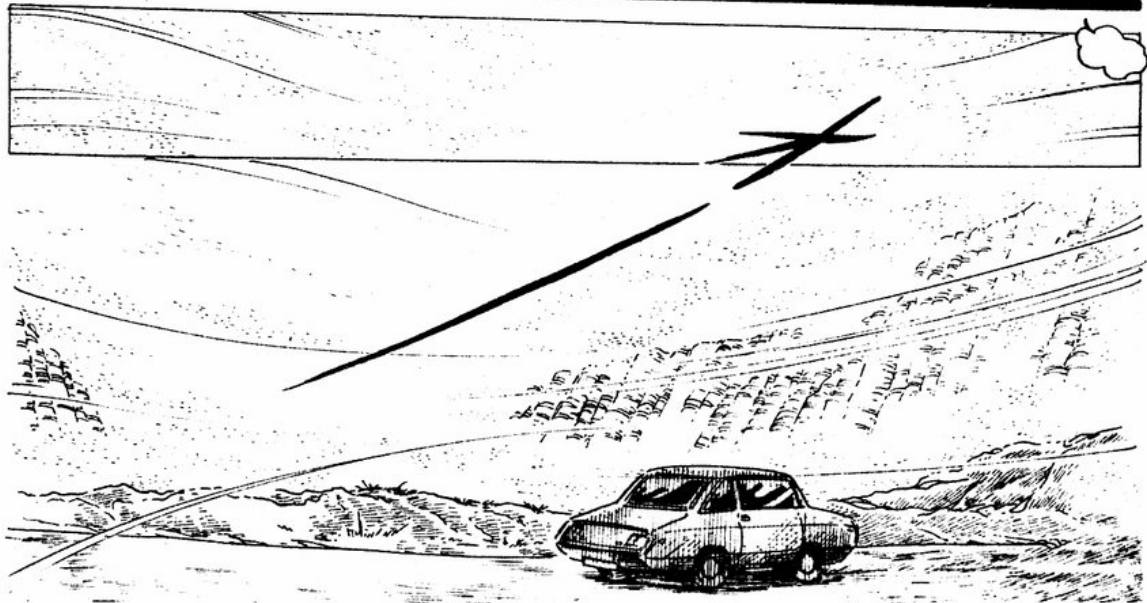
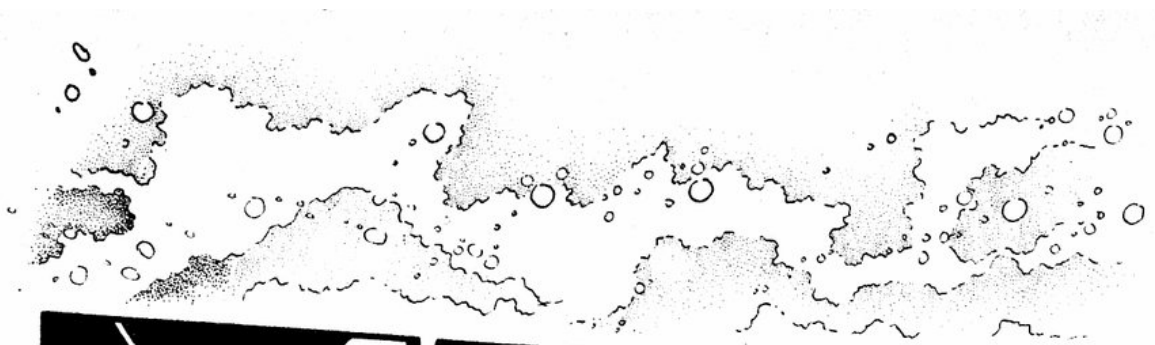
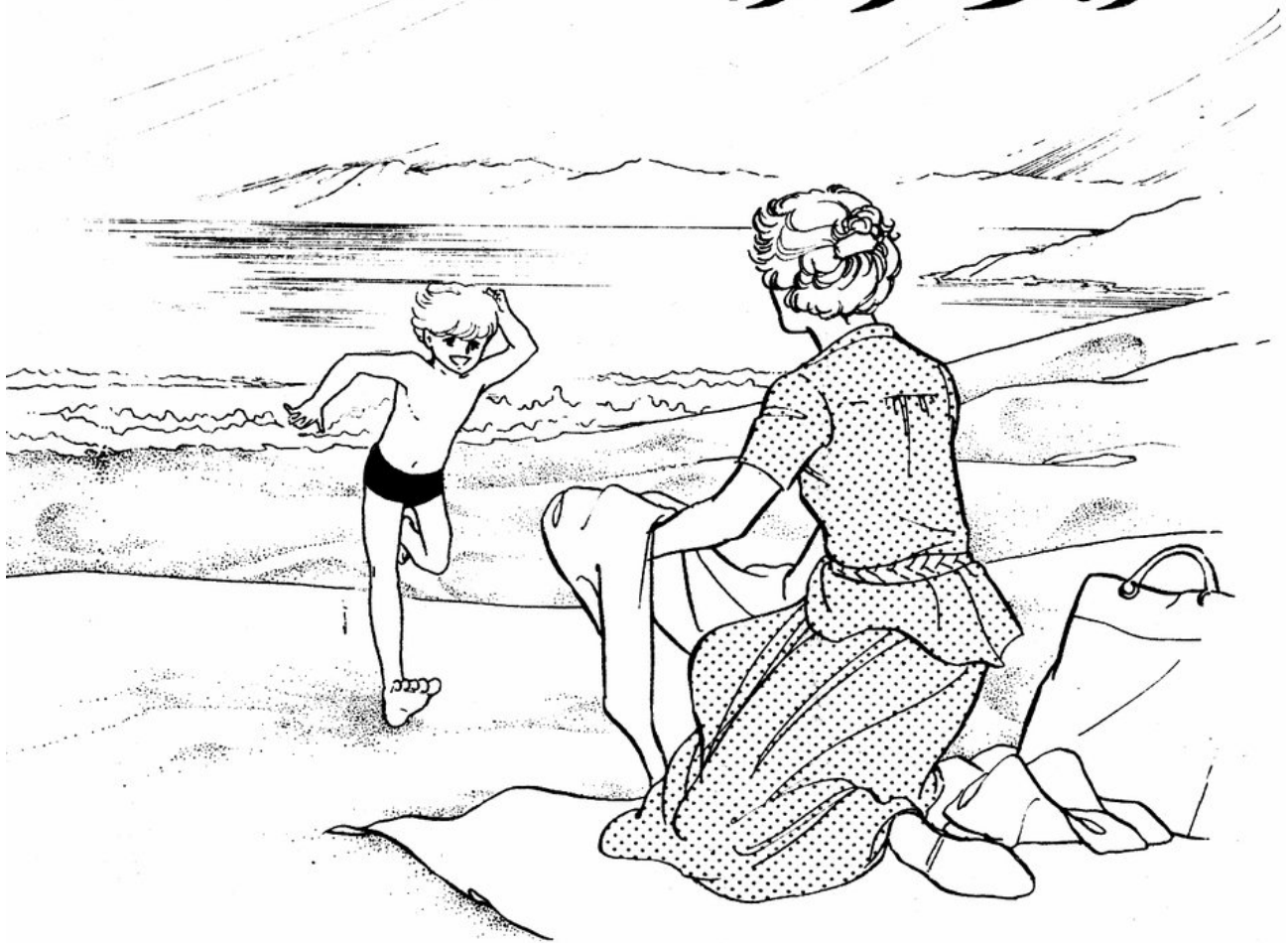
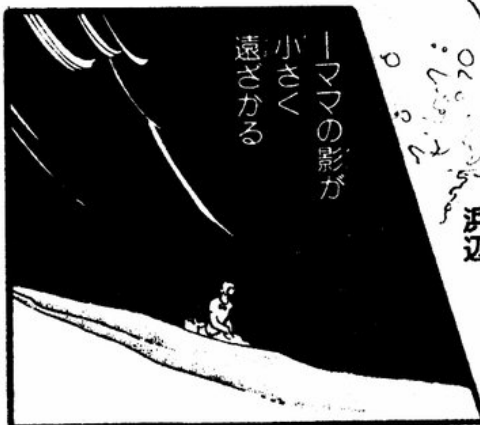
寂漠岬は
この先ですが
こんな霧では
海もみえま
せんよ
いいんだ
ありがとう

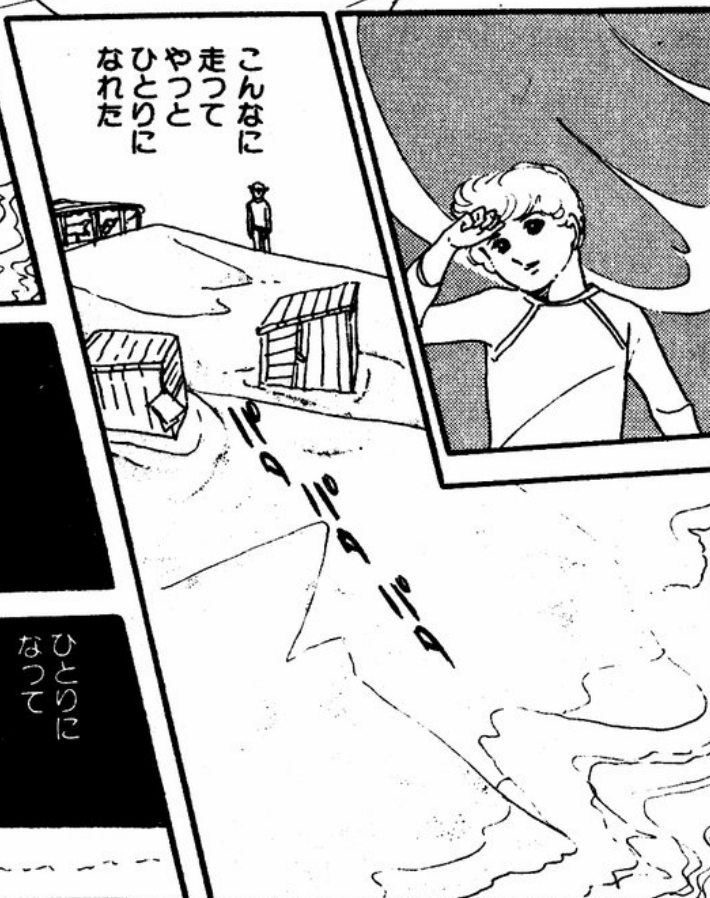
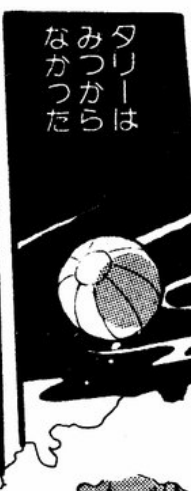
また
百万年も
待つんだ

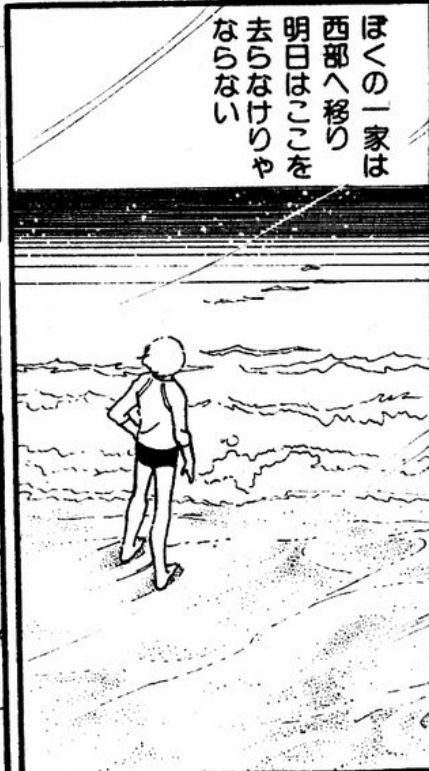
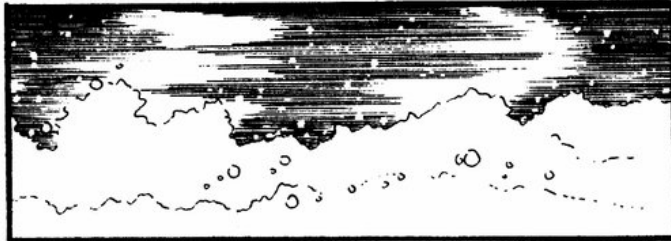
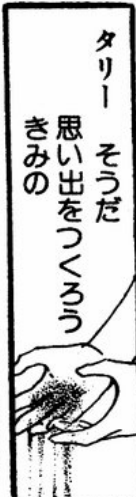
彼は帰って
また
待つことを
続けるんだ

永遠に
待ちつづけるんだ

みずうみ

さあ
からだを
かわかすのよ
セーターを
着なさい
ハロルド
まって
鳥肌が立つの
みてるの
ハロルド！
ザザザザ
もう夏も
すっかり終わりね
ザ
…マ・マ
…ママぼく
このなぎさを
かけだして
みたくなった
すぐ
もどって
くるのよ
明日は
西部へ
帰るんだから
水ぎわへは
いかないでね！
ザザ
だれも
いなくなった
浜辺
ーママの影が
小さく
遠ざかる

なぎさは九月
風がぼくを
もちあげる
明日は帰るのだ
これはなごりの
最後の日
こんなに
走って
やっと
ひとりに
なれた
パタ パタ パタ
おとなたちが
いつも
こどものことを
ああしろ
こうしろと
世話をやくから
――だから
ひとりに
なって
やっと
呼びかける
ことができる

ザザザ
タリー…!
タリー!
タリー!
タリー!
もう二度と教室には現われない
もう二度と歩道でボール遊びをすることもない。
あの子金髪この五月にはいっしょにおよいだ
おおおおい
タリー!
おおおおおおい

よく笑う
彼女はどこに
いったのだろう
キャーアアア
アアー!
タリー
タリー!
どこなの
監視人は
水に何度ももぐり
タリーをさがした
タリーは
みつからなかった
そうして
夏がすぎた
タリー帰っておいで
タリー…帰っておいで
タリー!
帰っておいで!
ぼくはまだ12だったが
彼女への恋を知っていた
タリー!
みずうみ
みずうみ
タリーを
かえせ
……!

いつも新学期には
彼女の教科書を
もってあげた
ものなのに
秋がきても
タリーはいない
ぼくの一家は
西部へ移り
明日はここを
去らなけりゃ
ならない
タリー　そうだ
思い出をつくろう
きみの
砂の城
いくつもいくつも
いっしょに
つくったね
タリー
ぼくの声が聞こえたら
帰っておいで!
帰ってきて…
……このあとの
半分をつくって
おくれ

ガシャッ
ガッガッ
ガッガッ
ガッ
つぎの日は
出発した
汽車は
あらゆる記憶を
遠ざける
消えてゆく
なにもかも
地平線の
かなたへ

歳月が
すぎてゆく
中学から
高校生活
一切を
思い出として
東部のことは
忘れ
大学へ
サクラメントで
若い女性と
知りあい
結婚した

あらあなたは
東部育ちなの？
それどんなところ？
まあ
いってみたいわ
新婚旅行が
おくれてるから
そこに決めま
しょうよ
ねえ
ハロルド
いいよ
マーガレット
汽車は
汽車は
たちまちにして
遠い昔に
残しておいた
もののところへ
引きもどす
記憶は
逆行する
レイク
ブラフだ！
レイクブラフ！
ガタン
ガタン
ガタン

反響するもの
過ぎ去った
日々の
ひびきが
きこえる
なつかしく
二週間滞在し
楽しくすごした
マーガレットは美しく
ぼくは彼女を
愛していた
すくなくとも
愛している
と思った
最後の日に
浜辺へきて
よかったわ
明日は西部へ
帰るのね
もう夏も
終わりだし
ママ⁉

風が　まっていたよ
まっていたよ　と歌う
何かが
ひそやかに
訪れる
けはいがする

ここにいてくれ
マーガレット
え？
なあに？
なんですか それ？

かわったものですよ
パチャ
…かわったものです
…長年監視人を
やってますが
こんなものは
はじめて
みました
死んでからもう
ずいぶん長いこと
たってるんです
…ながいこと
十年間ですよ
今年は
子どもの
溺死は
ひとりもない
1933年からこっち
12人子どもが
溺れ死にました
どれもわりとすぐに
発見されました
わたしの記憶では
例外は
一件だけです
これが…
それですが
なぜ
そんなに
長い間
水の中に
いたんでしょう
ね

はやくあけてください…!
あけないほうが…
…
……
あけてください
ザザ
ザザ
まだ小さな少女で…
ザザ

帰っておいで
タリー
タリー
おおおおおい
おおお　おおい
帰っておいで
帰って
おいで
どこで彼女を
みつけましたか
ほんとです
長い間
このさきの
水ぎわのところで
浅瀬の…
あそこにいたんです
長い間
信じられないが
本当なんです
帰って
おいで
帰っておいで
おいで
おいで
タリー

ザ
砂の城……
彼女が半分
ぼくが半分

永遠に
幼いタリー
永遠に
かわらない
タリー
ぼくもまた
永遠に
彼女を愛する
波が消す
タリーの足音
砂の城
くりかえし
くりかえし
おしよせるが
いい
おおい

おおおおおい
ぼくは永遠に
彼女を愛する
おおおおおおい
タリー
永遠に
彼女を愛する
おおおおおい
浜へもどると
見知らぬ
女性が
待ってい
いた
マーガレットという名の
見たこともない女性が——

ぼくの地下室へおいで

ふ──あうふ……
──土曜─休日──
──すてきな天気
シュ
おはよう！グッドボディさん
ごせいがでますね
あらおはようマニー
ウプッ
ファッきりがない！宇宙人の侵略だわ！
シュー
シュー
宇宙人？
空とぶ円盤の進攻よ！気をおつけマニー！
シュ─シュ
とってもとってもでてきて！
えい　この虫！虫！
タフだなぁとなりのおばあちゃん
速達でえす
ハーイ

わあっ
ぼくらんだ！注文してたんだ！
ヒュー！トム！
小包がきた！小包がきた！

なんの小包よォ
よこせェ
ドドドドド
朝っぱらからなんだ
マニー17にもなってからかってただけよン
おばさんほらっ
マニーのガキ
ぼくらのおこづかいで買ったんだぞ！

なんだそりゃ
きのこさ！パパ
本に広告がのってた
へーたかがきのこに航空速達！
ガサ

速達をだしたのむこうだもんぼくらじゃないもん
地下室つかっていい？暗いとこでそだてるんだよ
いいわねえ子どもだましに夢中になれて

1日でそだつってあったんだぞオ
でっかいきのこになんだから
ベビー豊作をいのるわよ

シュー

卵
ベーコン
パパの
タバコ…と
ロジャー!
ロジャーじゃない!
…マニー
こんにちは!
勉強虫クン
マニー!
きみに
会いたかった
電話しようかと
思ってたんだ!
そうね
1週間ぶりね
また大学の
研究室で
シャーレと
にらめっこ
してたん
でしょ
ガール
フレンドを
わすれて…
…ロジャー?
マニー!

きみとこは
みんな元気かい?
無事かい?
なにか
かわったことは
ないかい?
ないわ
あなたんち
は?
ロジャー
みんな
元気だ
かわりない
じゃあ
いいじゃない
マニーたのむ!
よく見ててくれ
なにか
変なこと…
変じゃないいような
ことが
おこってないか
——この世の中に
ロジャー
でも…
世の中なんて
いつも変
じゃない
ちがうんだ!
なにか……
前代未聞のことが
おこりつつあるんだ!
ガリ
ガリガリ

前代未聞ねえ? けさ となりのおばあちゃんが円盤がせめてくるなんていってたけど……
そんなもんじゃなく…
なにがおこるの? 世界の最後? リアルな夢でもみたの?
いや なんだか ——わからないんだ——
わからないんだ —— いつのまにか手がよごれている——でもいつよごれたのかわからない——
……たとえば ホコリはまい日世界中に落ちてくるけど気がつかない——
でも十分つもるとあーそこにホコリがある とわかる……
ふっと… ぼくはホコリに気づいた
なぜ気づいたの? あなただけ?
なにか…… なにかが十分につもりつつあるんだよ…!
それだけだよ 具体的に理由なんかないんだ
ただ不安なんだ なにかがかきたてるんだ

そんな不安
へんよ…
ロジャー
あなた健康？
健康！
もう健康！
大学の医者にも
みてもらったよ
じゃあいいわ
勉強のしすぎね
ぼくの頭が
おかしくなったと
思ってるな？
いいえ　でも
神経がつかれると
いらぬ夢想や
不安が
生まれる
ものよ
すぐ
なおる
わよ…
う〜〜〜っ
マニー
ぼくは
不安の理由も
原因も
つかめない
だけど確実に
なにかが
おこってるって
ことだけ
わかる…！
いいわよ…
ロジャー
どうすれば
いいの？
気をつけろ
ぼくの不安は
世界中を
おおってるんだ
協力して
くれ！
六感を——直感を
働かせるんだ
頭の細胞全部
つかうんだ！
なんとして
でも——
こいつを
見きわめ
るんだ！
なにが——
おこるのか！

時間ぎれに
なるまえに……!
まにあう
うちに……!
さも…
さもなきゃ
ぼくらは…みな
おしまいだよ…!
真剣――ロジャー
でもなんで
わたしの彼だけが
世界の心配を
してるのよ
…いい天気なのに
シュー
シュー
マーケットで
ロジャーに
会ったわ
おばさん
ああ
デートのとき
あんたに
原子記号を
おしえてくれる
変人ね
MILK
その変人とは
小学校からの
ながあい
つきあいだけど
きょうはとくに
へん……
チュン

おばさん…ねえ
気分どう？
そら予感って
やつ働く？
戦争とか
地震とか
………
キャーキャー
こらっ！
トム！
ヒュー！
もう戦争
やってる
じゃない
あのふたご！
みせようと
思ってさ！
どう
すごい
だろ！
ふたりで
水いっぱい
やったんだよ
どれどれ…
ほほう…
ね！
ピンの頭みたい
きれい！
これがけさの
速達の
きのこ？
そうだよ
もっと大きく
なるんだよね
うん そしたら
食べられるよ
食うねえ
毒きのこ
だったら？
トム
ヒュー
そんな
もんか！

どーだか
ねえ…あ
ちえーっ
いこ
いこ
トム!
ぼくらの
やることいつも
信用して
ないんだ!
食ってみりゃ
いいのさ!
だよなっ
マニーの
アホ
はあい
カシャ
フォートナム
です
マニーくんか?
ウイリスだ
ロジャーの父だ
ロジャーが
そっちへいって
ないか
え?
いいえ
ロジャーが
なにか
いないんだ…
タンスから
服が全部
なくなってる
家出したんだ
え!?
家出!?
マニー
――へんなことが――
気をつけろ
ほこりが
気を

カラだわ！
1着もない
どうして…
さっきまでいたんだ
ぼくとにいさんは庭でキャッチボールをしてたんです

ちょっと用をすませてくるってにいさんは家にはいって…
それきりこないので見にいくとタンスがカラだったんです……！

ロジャーはなにか悩んでたのか？家をでるほど
わけがわからないわやさしくていい子だったし…こんな…

マニー！あの子は誘拐されたのかもしれないそうよ！
だって…じぶんでトランクをつめて誘拐されるの？

ええこっそりだれかがはいってきて無理につれだしたのよ
きっと恐ろしいことがおこったのよ！

駅と飛行場に手配したんだが……
じゃ…わたし心当りを…どこか…
たのむ

心当りといっても…
ねえジョー キャッチボールしてるとき ロジャーはどうだった? せかせかしてたり…
ううん ぜんぜん…
ふつうのロジャーだったよ ほんとに
うんそうね…
ダッ
カチャ
キィ
あ 地下室——か
パタン
けさ ロジャーはなにをあんなにおびえてたんだろう
シュー
シュー
えい このあぶら虫! てっぽう虫!
このマ・ラ・ス・ミ・ウ・ス・オ・レ・ア・デ・ス!
あら こんちは マニー
まったく いくらでもふえるんだから!

マ・ラ・ス・ミ・ウ・ス・なんとか――がどうしたって？あぶら虫てっぽう虫なによ
カチャ
いったいロジャーどこにいったのかしら
あんたロジャーとけんかでもしたんじゃないの家出って
わけがわかんないわ…ただ
クスクスクスクス
ギイ
カチャ
フフッ
バタン
さあ夕食よ
あのふたご地下室で1日きのこばかりいじってるんだから
マニー
マニーおさらをならべて
え？
…あ

電報です
フォートナムさん!
おまえにだよ
マニー
パパ
カサ
「ニューオーリンズにいく
監視の
スキを見て電報うつ
速達小包
ぜったい
うけとるな」
ロジャー
ロジャー
見つかったの?
ええ
ロジャーよ!
ニューオーリンズに
いくって――
あきれた男ね
すぐ警察に
電話しなさい
捜索ねがい
だしてるんでしょ
監視の
スキをみて
うつ
速達小包
うけとるな

ガチャッ!
マニー?
ロジャー
どこ…! どこなの あなた…
どこって? 警察にいるよ マニーこれは なにかの いたずらかい? どうしたの!
なにをいってるの ロジャー なにもいわずに 家をでるし…
警察? あなた 無事なの? 夕方電報を うけとったけど
ニューオーリンズに いくって…それで
電報?
そんなもの 打たないよ!

それに
だまって家を
でたって?
ひどいなあ!
南部の大学の
生物研究サークルを
たずねにいくって
まえから
ちゃんと両親に
いっといたんだよ

………

ロジャー
あの…
あなた
あの…

あぶないことは
ないの?
むりに脅迫されて
しゃべらされて
ないでしょうね?

おいおい
マニー!

いいかい!
ぼくが
南部いきの
列車に乗ってると
警察がとつぜん
乗りこんできて

強引に
いなか町で
ぼくをおろし
ちまった

ぼくには
捜索ねがいが
だされてるんだって?

…………
チーン…
カラさわぎね!
まったく
わたし
先に休むわよ
にいさん
マニー
おやすみ
シンシア
さあおまえも
マニー
なんにせよ
ロジャーが無事で
よかった
…ちっとも
無事じゃないわ
じゃあ
あの電報は
だれがうったの
………
ロジャーよ
ニューオー
リンズに
いく
彼
電報を
うってから
気がかわっ
たのよ——
監視の
スキを見て
うつ
スキ?
だれの!
へんな
電文
……
速達小包
ぜったい
うけとるな
パパ!
うちに
速達小包
きた?
きたじゃないか
けさ
トムと
ヒューに

ガタン
ガサ ガサ
これだわ
小包…
バサ バサ
ニューオリンズ
ルイジアナ州
ニューオリンズから
速達小包
こここ ロジャーの
いこうとしているとこ
小包 小包きのこ
おくってきた
きのこ
地下室
きのこは
トムと
ヒューが
バタン
バタン
バタン

マニーです…！
ロジャーのおかあさん？
ロジャーから連絡ありました？
ええ――
どうも心配かけて
ええ　それはよかった――
それで
つかぬことをうかがいますが
最近おたくに
速達小包とどきませんでした？
え？
小包？
…まって
ええきましたわ…3日前
でもなぜ？ごぞんじだと思っていましたわ
この近所の子どもたちみんなあれに夢中ですもの
なに……に
きのこですわ
地下室でそだててるんです

きのこ…
きのこ…
ニューオリンズからきた小包
速達小包うけとるな!
ぼくは無事だよマニー!
なにかへんなことへんでないようなこと
なにかが確実におこりつつある
宇宙人の侵略だわ!
えい この!
とってもとってもふえる!
このマラスミウス・オレアデス
となりのおばあちゃんの庭――

パラララララ
・・・・・・・マラスミウス――
マラスミウス
オレアデス
初夏や秋
芝生によく
みられる
きのこ
きのこ
サラサラサラ
どうした
マニー
休まないのかね
ロジャーは
心配ないの
だろう?
――パパ
いいえ　パパ
…おかしいわ
不安なのよ
…なにか　なにか
…へんなことが
おこっている……
気を
つけろ
マニー

もしかしたら
…この世界は
なにか異質な外の世界から
侵略をうけているのかも
しれない……
なにをみょうな
ことをいいだすね！
空とぶ円盤かい
だいじょうぶ！
マンガやSFを
読んだろ？
地球のレーダーが
すぐ円盤を
発見するさ！
いいえ——
そんな目に
みえるものでこなかったら！
もっと
小さかったら！
細菌
細胞
種子
花粉
ビールス
それは
目にみえない
ちりの雨よ…
おそらくは
なん百万年も前から
この地球に
ふっている
…宇宙から…
たとえばロジャーは
なんといってきた…？
速達小包をうけとるな
速達小包でなにが
きた…？ きのこ
きのこの
胞子よ
きのこ？

そうよ
でも宇宙からきた
胞子や種はそんなに
やたらどこでも
ふえられやしない
町中では
となりの
おばあちゃん
のような人々が
芝生の
手いれをしているし
気候も問題
でもあたたかい
南部ならどう
アラバマ
ジョージア
ルイジアナ
しめった南部の入江
なら十分そだてる
そしてロジャーは
いま南部にむかってる
――急になぜ?
いったい
なにが……
マニー
じゃなにか?
トムとヒューに
小包を
おくってきた
通信販売の
会社は
でっかい
きのこの怪物に
経営されて
るのかい?
こっけいね
アッハハハ
そして
たったいまも
男の子たちが
それぞれの家
地下室で
きのこを
そだてて
いるんだわ
いったいどれだけの
男の子たちが
おこづかいをためて
ニューオーリンズから
小包をうけとってるの

わしも子どものころは
安物の通信販売に
こづかいをおくったものさ
男の子の遊びさ
子どもだましの
化学薬品や
組立式の
時計やね
ハハ…
いいかい？ マニー
考えてもごらん
きのこには手も足も
頭もないんだよ？
どうやって
速達小包を
配達したり
世界を征服したり
できるんだね？
んん？
おいで
そんなに
心配なら
見にいこう
おまえのいう
地下室で
そだっている
きのこの
怪物を
をさ
ああ――
わかってるわよ
どうかしてるのよ！
きのこは
きのこよ…ええ
わかって
るわ
パパったら
！
マニー

そうよ　おかしいわ…
…どうかしてるわよね
ミルク飲んで
ねるわ…もう
うん
そうしなさい
ロジャーはすぐ
帰ってくるさ
おやすみ
マニー
ええ
パパ
いやだわ
ほんとに…
ばかげてるわ
カチャ
こんな考え…
…

これをここに
おいたのは
だれ？
パパ？
おばさん
それとも
きのこにも
手や足が
はえることだって
あるわ
だれかが
みつけて
——食べるのよ
きのこは体内で
消化され
血液中に広がり
細胞に
おしいって
人間を
……かえて
しまうんだわ
そうだ…
きのこ宇宙人に

ロジャーは
弟のつくった
きのこを
食べたのよ
そして
じぶん自身を
誘拐したのよ
一瞬正気に
もどったすきに
あの電報を
うったのよ――
「うけとるな!」
ぼくは
無事だよ
マニー
あの電話に
でたのは
――うそよ
そんな――
トム
ヒュー
クスクス…
その中に
いるの?
あんたたち

……なに
マニー
ねえさん
もう12時すぎよ
なにしてるの？
きのこの
世話だよ
ちょいと
でてらっしゃい
ふたりとも
！
………
…聞くけど
あんたたち
冷蔵庫に――
きのこ
いれなかった？
あれ
あんたたちの
きのこ？
コトン
ん？
いれたよ
………
みんなに
食べさせようと
思ってさ……
トム
ヒュー
あんたたち…
なんかの
はずみで
きのこ
たべたり
しなかった？
どうして？
いけない？
マニー
ねえさん
食べたよ
夜食の
サンドイッチ
に
してさ
なあぜ？

マニーねえさん
おりといでよ
収穫を
みてよ
コト
カタ
マニー
ねえさん
おいで
まって…
なにをこわがってるの？
ええ
ばかげてるわ
そんなはず
ないわよ
あかり
つけないで
きのこに
悪いんだ

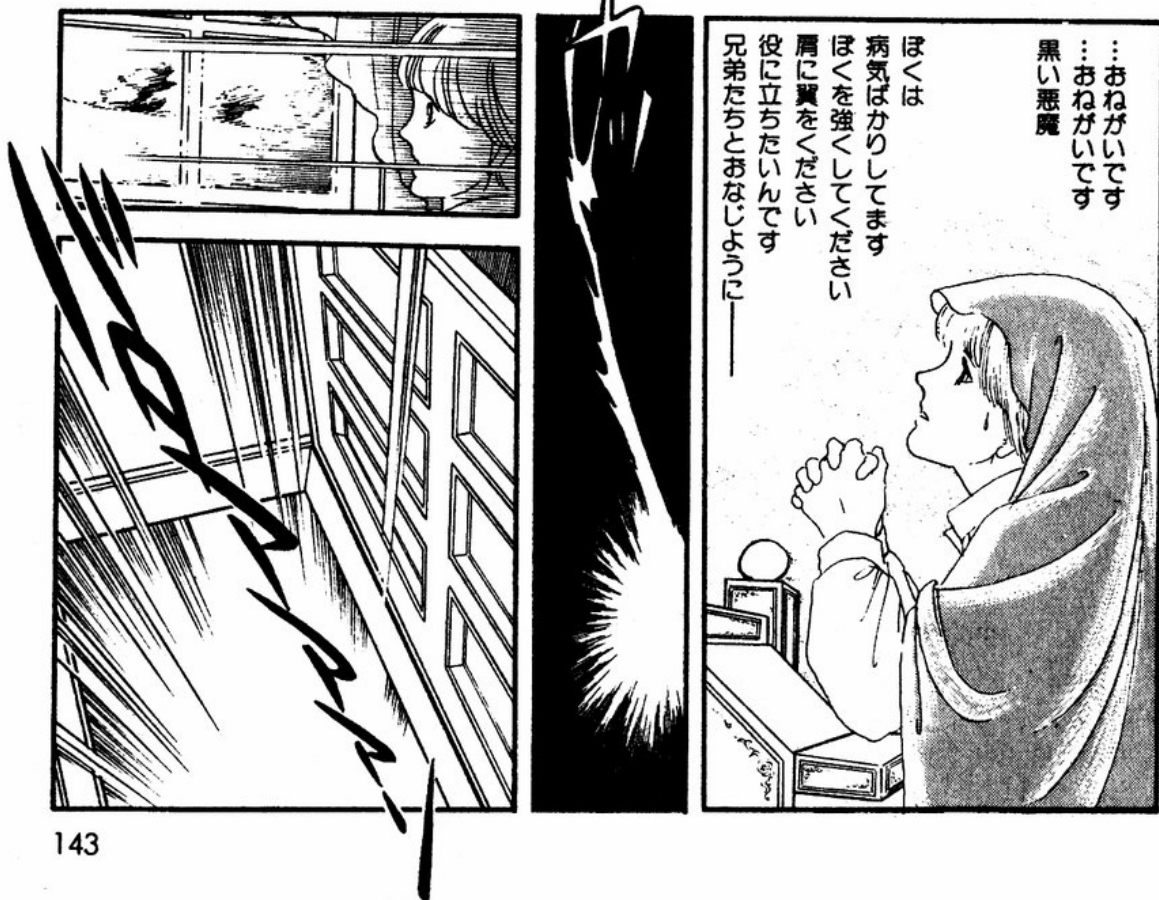
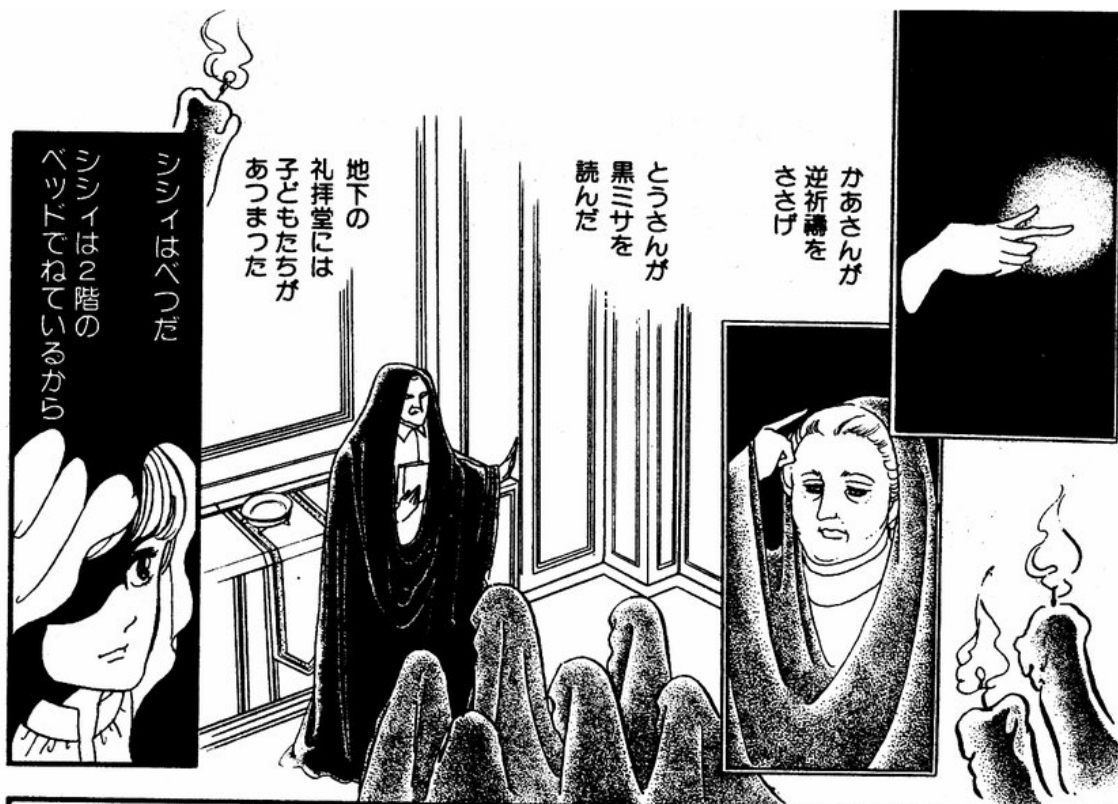
さあ………

――空を飛んで
平野を駆けて
地下の流れをつたって…
世界中から
見えるのかい？シシィ
ええみえるわよ
だれかがオオカミの姿でいま小川をこえたわ
すごい！
やってくるわ
みんなが？
だれもみんなくるの？
……くるわ
シシィ！シシィ？
もう…いいでしょ
じゃましないでわたしねむって好きなとこに飛んでいくんだから……
万聖節だ！

――みんながやってくるよ
あつまるよ
明日は
〃万聖節の宵祭〃だ…
集会

なにつっ立ってるのよ！ティモシーのチビ！いそがしいのに！
どけどけ！ウロウロするな！うすのろ！
きれいなつめだねエレンねえさん
あっちいって水をぶっかけるわよ
……！
たいへんたいへん！
手がいくつあっても足りないわ！
それをあそこへ！
これをそっちへ！
集会よ！
みんながくる！
そらティモシー！こいつをみがけ！
お客の寝所だぴっかぴかにしろよ！
これ大きいね？エナー伯父さんの眠る箱？ねとうさん…
うるさいチビ

万聖節だ
宵祭だよ
みんながくるよ！
ティモシー
毒キノコ
とってきて
おくれ！
フワ
やあ…クモ
いたね
こんばんは…
ぼくの友だち
おみやげの
羽虫だよ
家は集会の
したくで
たいへんさ
……
あの街の
人たちはもう
ねむってるね…
家で
ひらかれる
集会の
ことなんて
しらない
んだよ
ねえ…クモ
ぼくは一家の
できそこない
なんだ…
ぼくは
かわりもの
なんだ…
…ぼくは
かたみが
せまいんだ…

かあさんが
逆祈禱を
ささげ
とうさんが
黒ミサを
読んだ
地下の
礼拝堂には
子どもたちが
あつまった
シシィはべつだ
シシィは2階の
ベッドでねているから
だけど
ねむってるのは
体だけで
シシィは
風に化けて
ここに
きてる
どこからか
のぞいてる
だれの目に
はいってる
のかな?
…おねがいです
…おねがいです
黒い悪魔
ぼくは
病気ばかりしてます
ぼくを強くしてください
肩に翼をください
役に立ちたいんです
兄弟たちとおなじように――

いらっしゃい!
まあ!ウィリアムズ!
ようよう!
こんばんは!
ようこそフルルダ!ヘルガ!
ヴィヴィアン!
こんばんは!おひさしゅう!
こんばんは!
長旅おつかれさま!
アジアから飛んできたのかい?
さあさあ!
ザワザワザワ
やあ!やあ!
たしかおまえはティモシーだったな?
ええ?
いい子になったな!
いい子だ
ティモシージェイスン伯父さんだよ
ようこそこちらへ
さ

さあ
くつろいで！
お茶をどうぞ！
この人数じゃ
トリカブトが
足りないわ！
まあ！
モルギアーナ
伯母さんったら！
うちの兄弟は
みんな利口者よ！
町で
葬儀屋を
やってるの！
エレンは
美容師よ
ツメと髪を
あつめてるの

もちろん
ティモシーは
なにも
できないけどね
！
あの子は
血がきらい
なのよ！

それに
暗いとこが
こわいんだって！
クスクス
……

なーに
まだ子ども
だからさ
いまに
おぼえるよ
あの子も！
そうだよ

むりじいは
子どもに禁物だわ
体を弱く
しただけだった
…あたしが
悪かったんだよ

バサ
あ!
エナー伯父さんだ
バサバサ
伯父さん!!
よう
ティモシー!
元気か?
そら
おまえも空を
飛んでみろ!
飛べるはずだぞ!
わ…!

どうした!
翼をつかえ
おまえも翼をもっているはずだ
ポーン
そら飛べ!翼だ!
伯父さ…
翼だ!
あ…
あ…!
風のように体が軽い!
幻の翼がぼくの肩に生まれる!
ああ
これは!
これは!

はあはあ
…どうだった？
飛んだ気分は？
伯父さん！
伯父さん！
エナー
伯父さん！
よしよし
よかったな
よかった…
シーッ
じきに
夜明けだよ
夕方まで
ひとねいり
しようよ
さあ地下室へ
どうぞ
どうぞ
そら朝の陽が
さすよ——
おやすみ
……

フゥ

飛行って
つかれるんだな
でも
すばらし
かった

いつか
エナー伯父さんの
魔法の手助けを
かりずに
じぶんで
飛べるように
なりたい…

闇が好きに
なれるようにも
したい…
闇の中だと
失敗しても
人間に
笑われ
ないもの
人間たちは
暗いとこでは
なにも見えないから

たくさんのことが
できるように
なりたい……
みんなから
バカに
されない
ように…
毒キノコも
酒も
平気に
なりたい
……そして…

日没だ！
日没（にちぼつ）だ！
さあ！饗宴のはじまりだ！
さあ輪にはいっとくれ！
ひさびさの集会だ！
今夜は万聖節（ハローイン）の宵祭だよ！
わしらのまつりをたのしもうじゃないか！

おくれたな!
はじまった
ばかりさ!
ようこそ!
ヨーロッパから
きたのかい!
さあさあ!
ティモシー
お客の
コートを
かけて!
さっさと!
チロッ
ワッ
ネズミ
ネズミが
なんなの?
この子は!
まあ
まてまて
わしはこいつを
しっとるぞ!
…姪の
リーバーだ!
ホホホホホ
ようこそ
リーバー
ストラウター!
いつも
美しいね!
ホホ…
ティモシー!
台所を
手伝っておくれ
う…うん

あれを
はこんで
ティモシー
これを
手伝って
はい
そら
はやく
うん
ガタガタガタガタ
ヒュウウウ
ス…ン…クスン…クスン…クイ…
ヒュオオ
だあれ？
窓の外で
だれか
泣いてるのかい？
フワッ
墓場の木々が
鳴く声がする
ティモシー
お湯は
わいたの？

シシィ……
カチャ
…シシィ
いまどこに
いるんだい？
……
い…ま
…ね
インペリアル
渓谷に
いるの…
きれいな
夕陽…
…あたし
百姓の
おかみさんの
体にはいってるの……
湖の
ほとりの家
この人
ぼんやりと
夫の帰りを
まっている
ところよ…

それで――？
近くの沼で硫黄が燃えているわ
いやな臭いよ
歩いて！
沼にむかうのよ！
どうするんだい？
あたしこの女の生き方変えてやるの
そら立って！
フフ
この女はあたしのあやつり人形よ
……鳥だわ！
あたし急に鳥に乗りかわったわ！
硫黄が燃えてる！
その中に落ちたわ！
落ちたわ！
溶岩の中に！
さあ飛んで！
わたし鳥になって家へ帰るわ！
女の人は!?

……！
ただいま！
ニコッ
下で集会がはじまってるんだ……
どうしたの？なのになぜ2階にきてるの？
わたしになにか聞きたいことがあるのね？にいさん
……ぼくはなんにもできないから…なにか…みんなを感心させるようなことをしたいんだ
そうすればみんな仲間にいれてくれると思うんだ…
なにをしたら…
ああ…いいわ
ティモシーにいさん

さあ…まっすぐ立って…!
目をつぶって!
…あ
…さあ
シシィ?
なにも考えないのよ
シシ……ィ?
いきましょう!
陛下に!
みんなの顔を
ようく見てて!

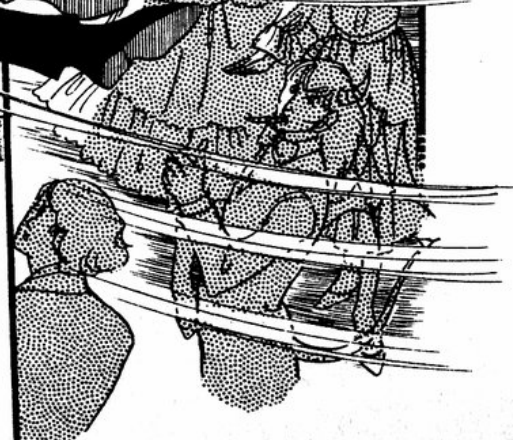
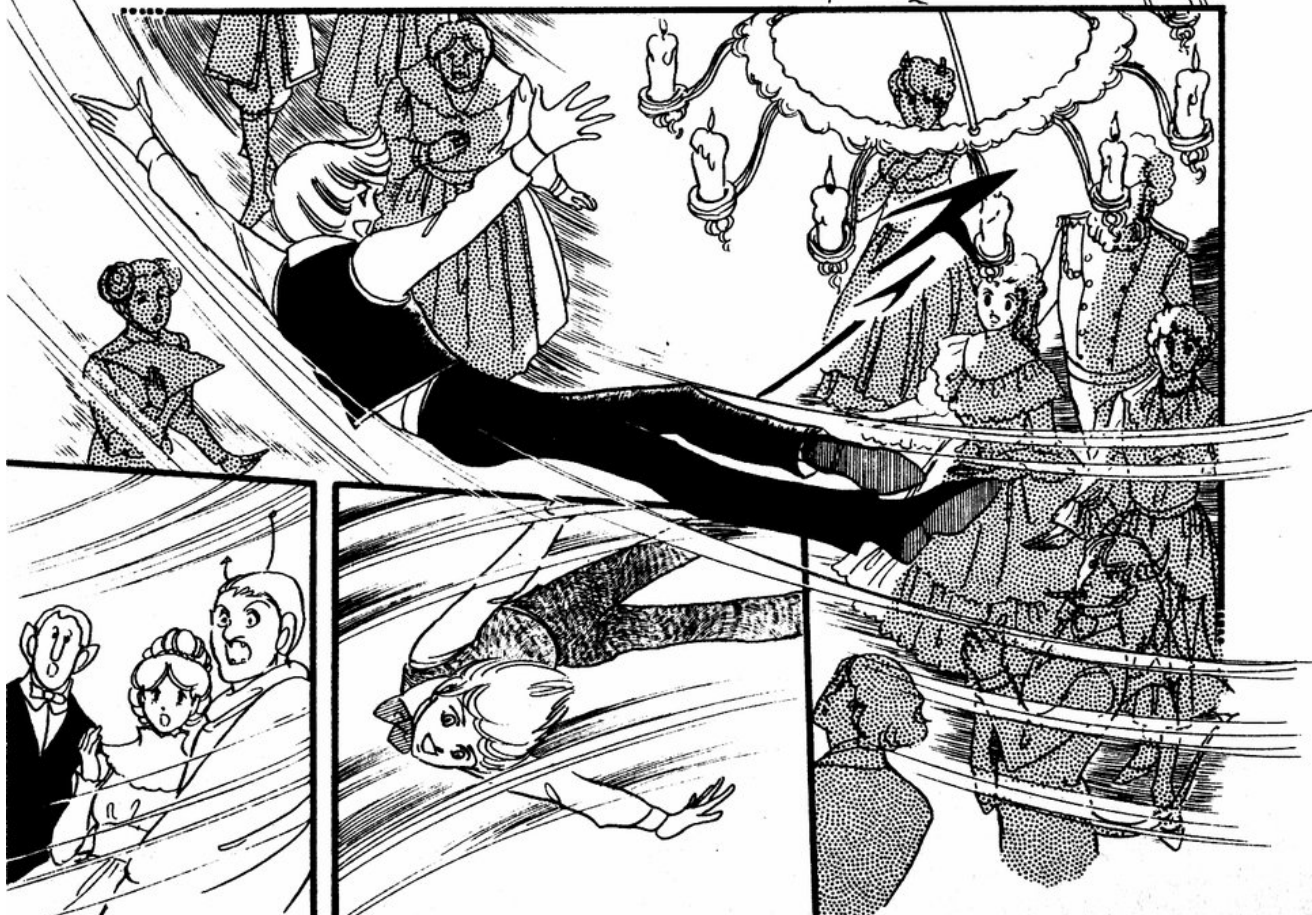
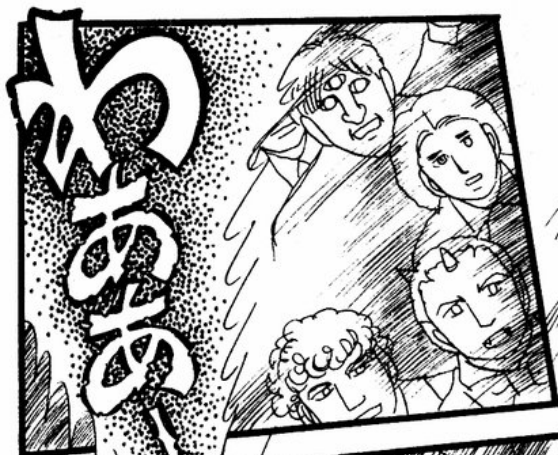
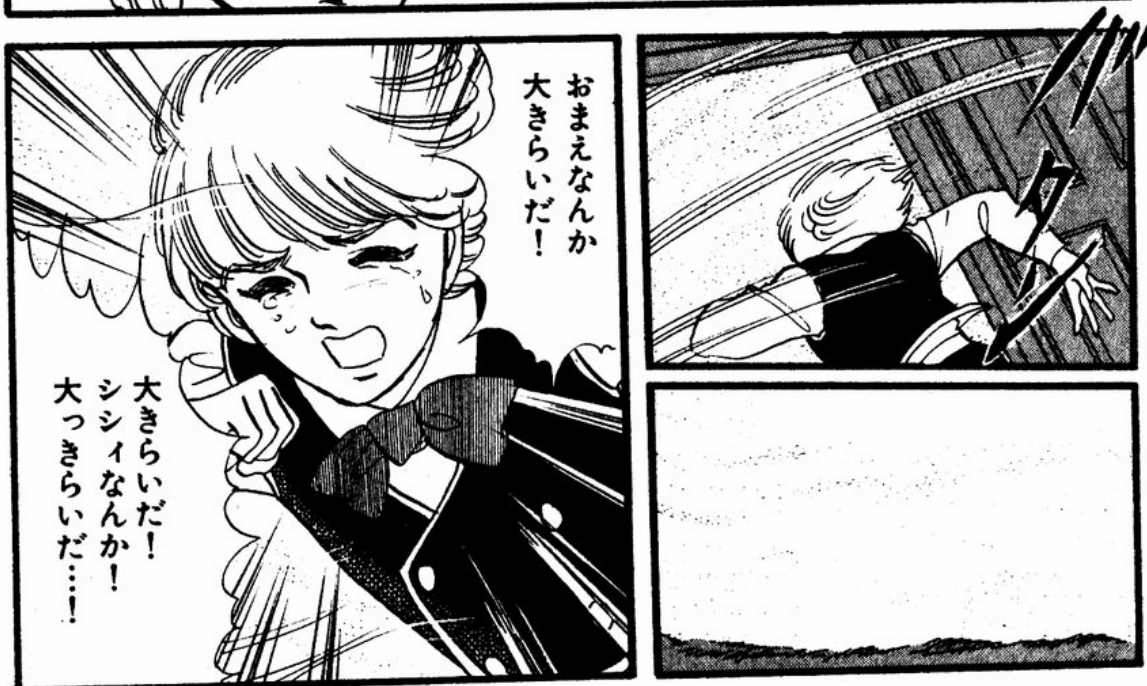
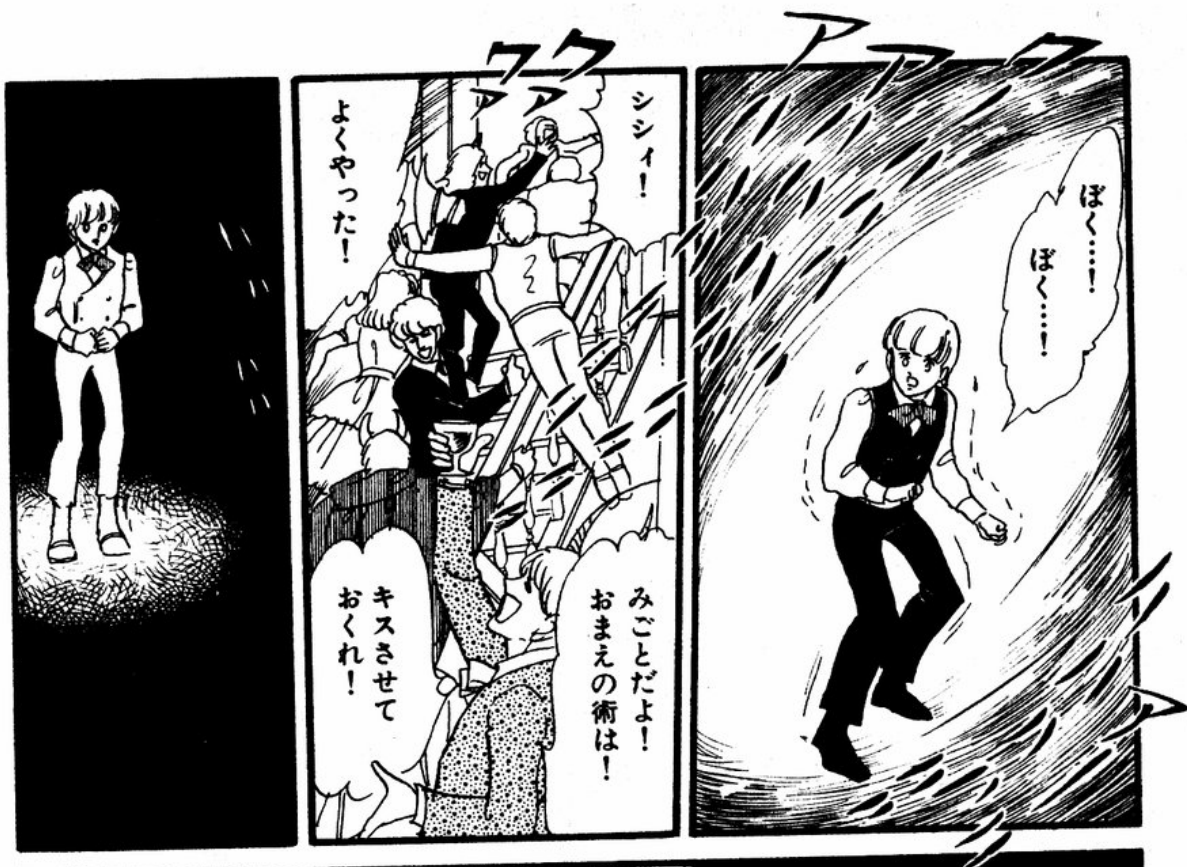
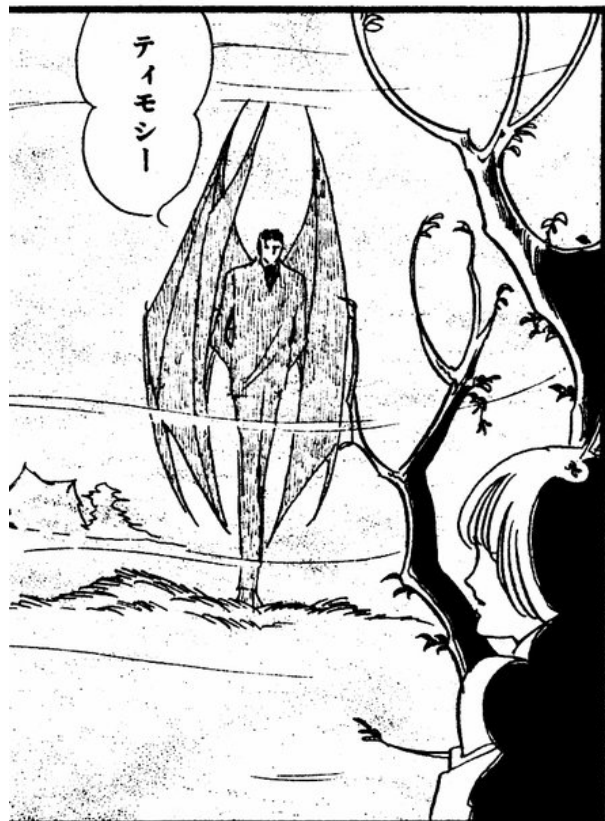
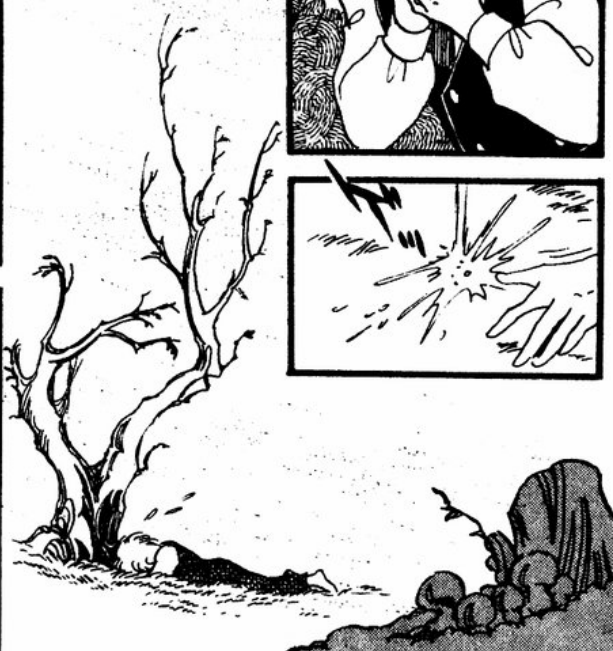
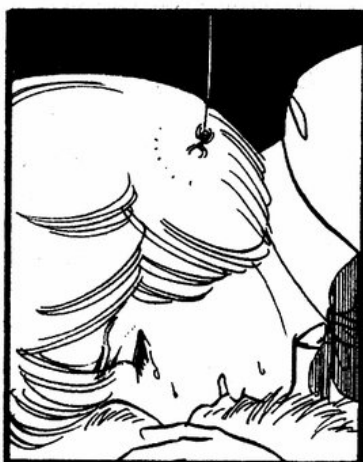
みなさんの
健康と
一族の
繁栄を願って！
やあローラ
そのドレスは
すばらしくきみの
目の色にあう
街では男たちが
みんなきみに夢中だろう！
ぼくは弟として
鼻がたかいな！
…とてもきれいだ…
最高だよ！

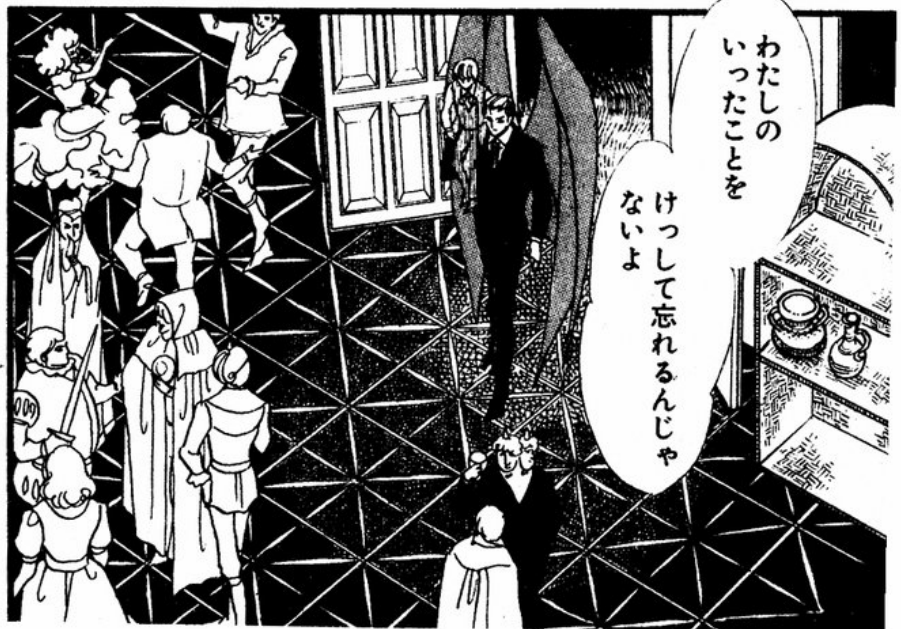
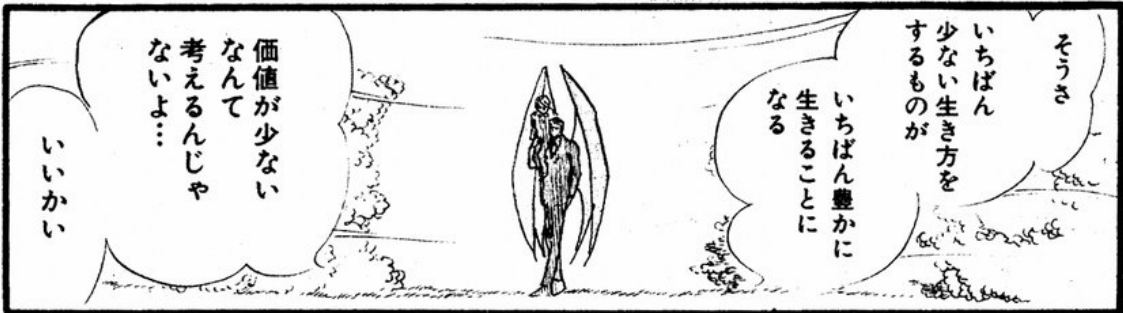
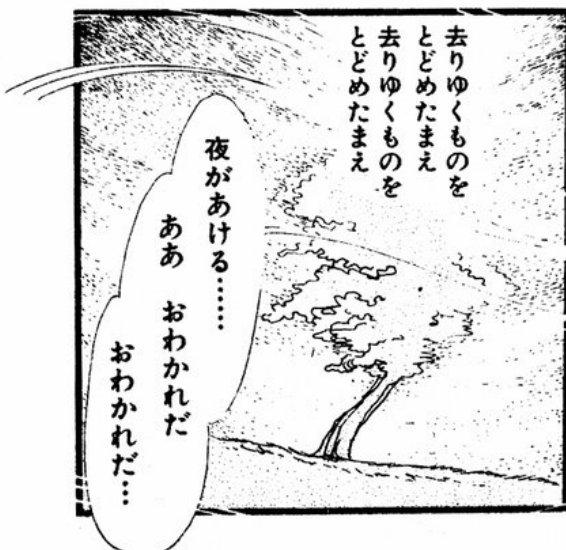
みてください！
みてください
エナー伯父さん！
ぼくは
飛べるように
なったんです！
ほら！

おやめ…！
ティモシー！
みてて
かあさん！
ヒュ
スウ
わあぁー

これ
シシィです！
シシィが
やったんです！
ぼくじゃ
ないんです！
ぼくは2階に
いるはずなんです
シシィの部屋に！
シシィは…
ぼく…

ワアアアーッ
ぼく……！
ぼく……！
シシィ！
よくやった！
みごとだよ！
おまえの術は！
キスさせて
おくれ！
おまえなんか
大きらいだ！
大きらいだ！
シシィなんか！
大っきらいだ……！

アグ
くすぐったい…
くすぐったいよ!
フフ…
おやめ…
おやめよ
……
ティモシー

おこるんじゃないよ…だれでもそれぞれの生き方というものがある
おまえにだってね
この世はわれわれにとって死んでいる……
いたるところで死んでいる
そうさ
いちばん少ない生き方をするものが
いちばん豊かに生きることになる
価値が少ないなんて考えるんじゃないよ…
いいかい
わたしのいったことを
けっして忘れるんじゃないよ
おじさん……

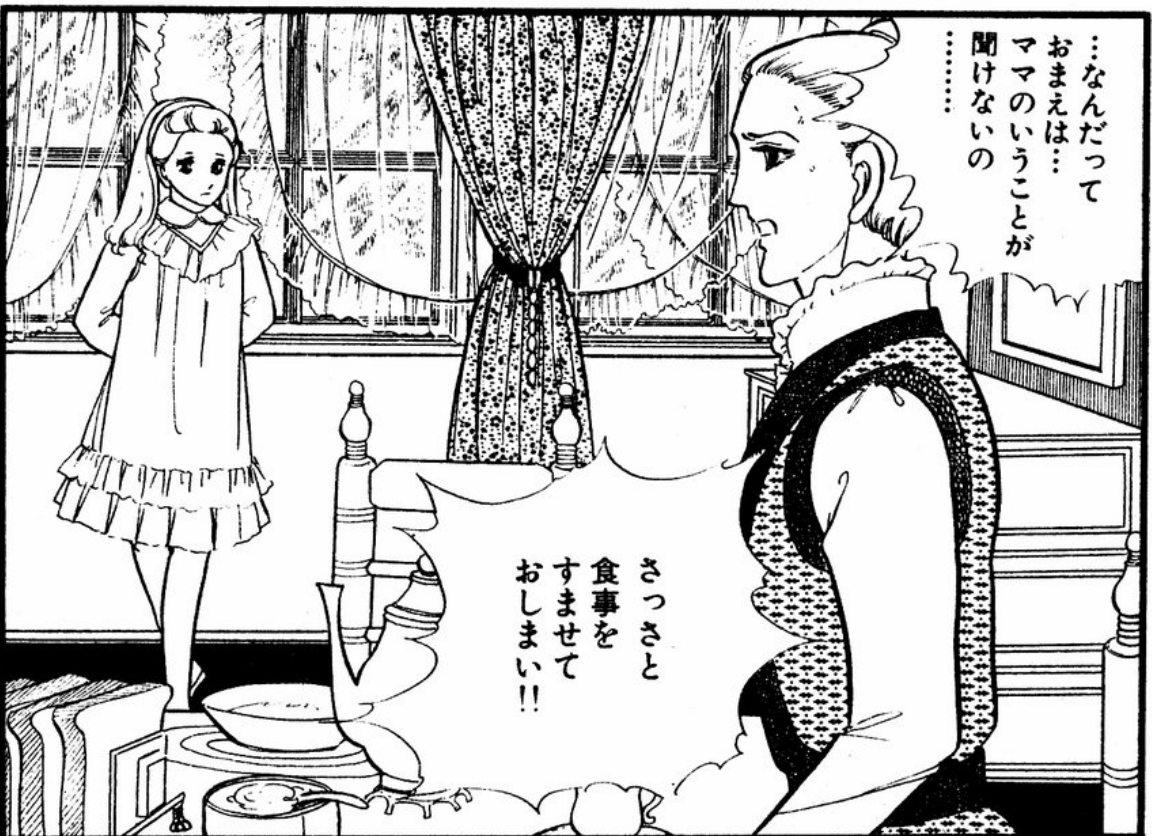
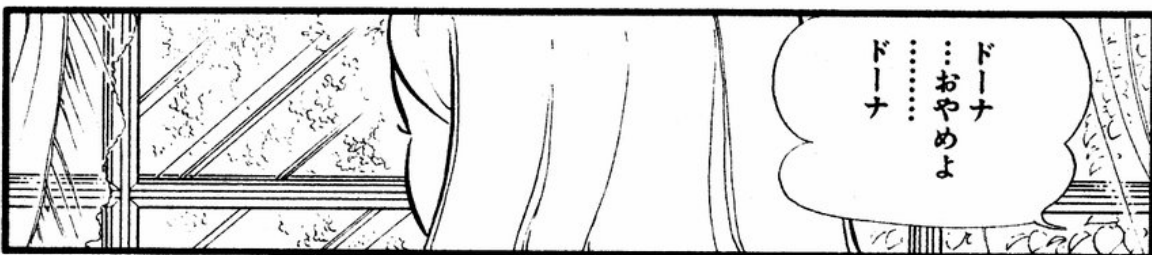
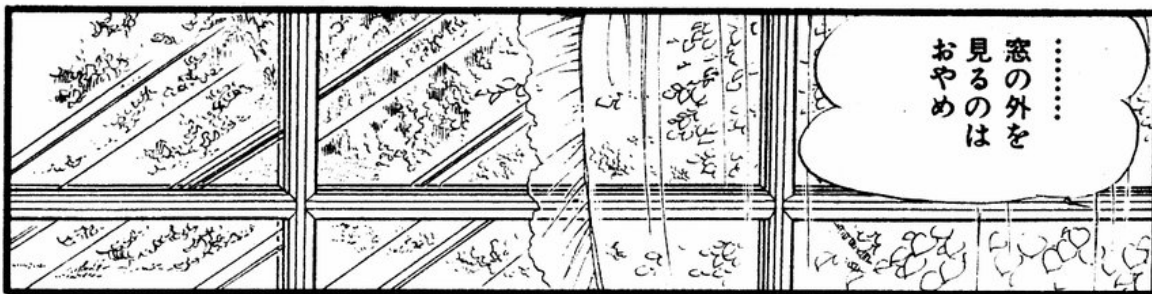
カーン
夜が明ける！
遠くの街の鐘が鳴る…
カーン……
ぬれた闇は去りゆく
青い月はおぼろに消えゆく
すずかなる時々よ夜の闇よ……
われらをまもりたまえ影に地にひそめたまえ
しらない古い歌なのに……
シシィおまえなの？
ありがとうもうきみを怒ってないよ
みんなと歌わせてくれてありがとう…
去りゆくものをとどめたまえ去りゆくものをとどめたまえ
夜があける……
ああ　おわかれだ
おわかれだ…

さようなら！たのしかったよ！
こんなにたのしかったことはなん年ぶりだろう！
短い一夜だったよ！
さようなら！つぎは30年後にセーレムだ！
みんな元気で！
さようなら！さようなら！
セーレムで会おう！
さようなら！
セーレム……ぼくはそれまで生きていられるだろうか？
あ
からだがからだが！

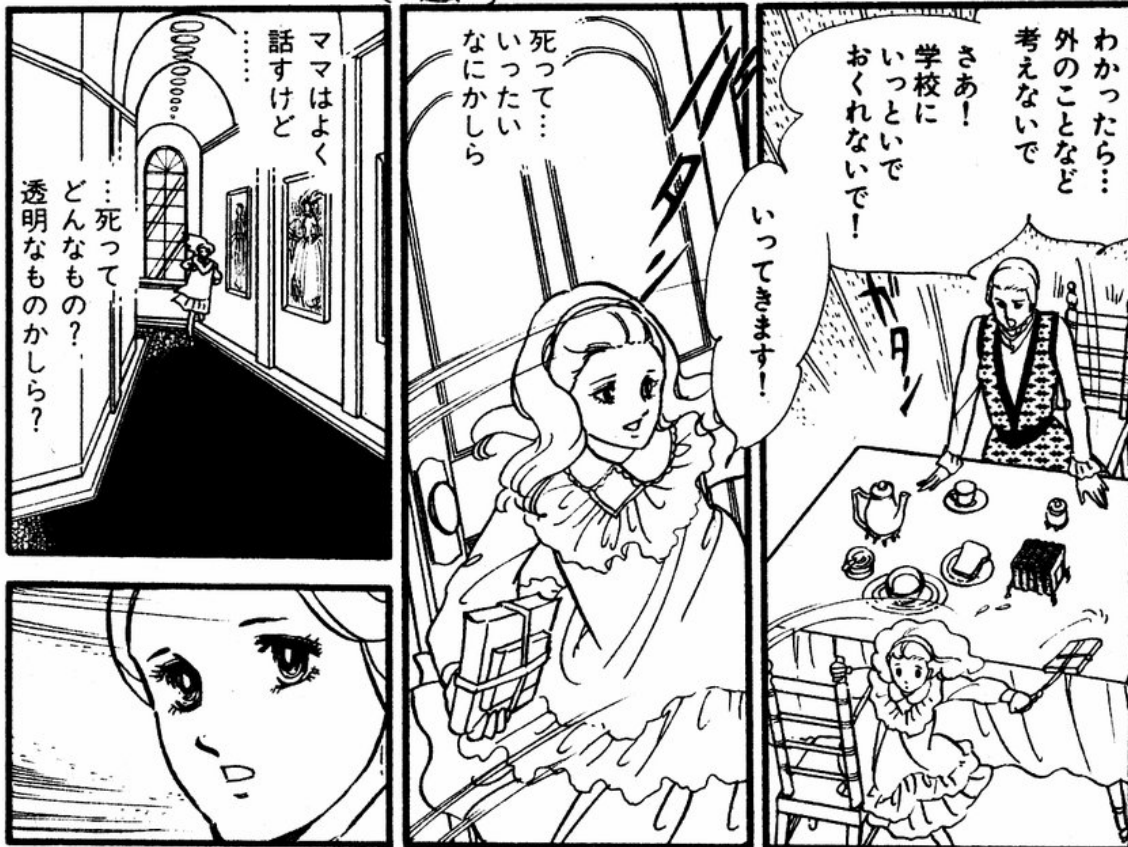
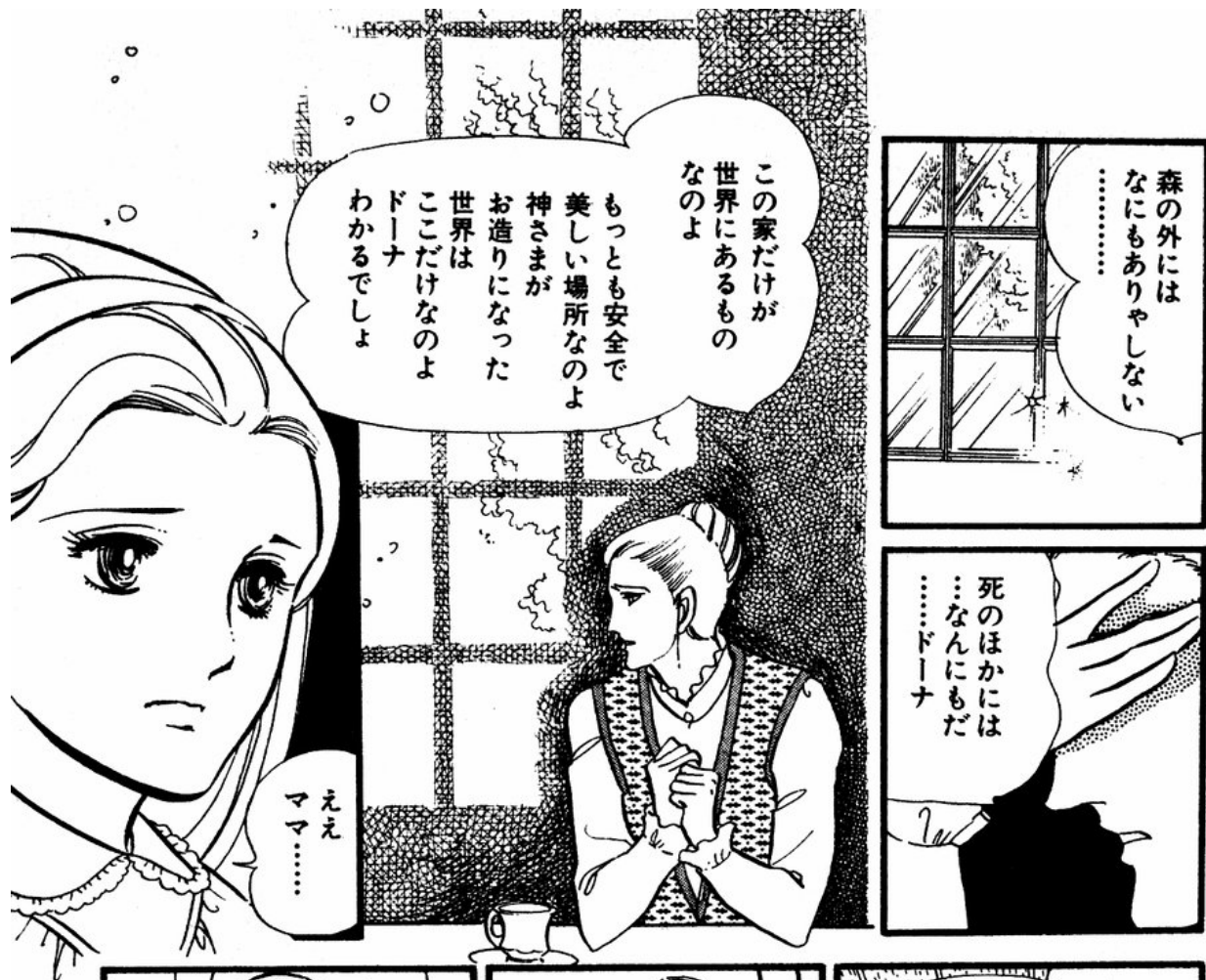
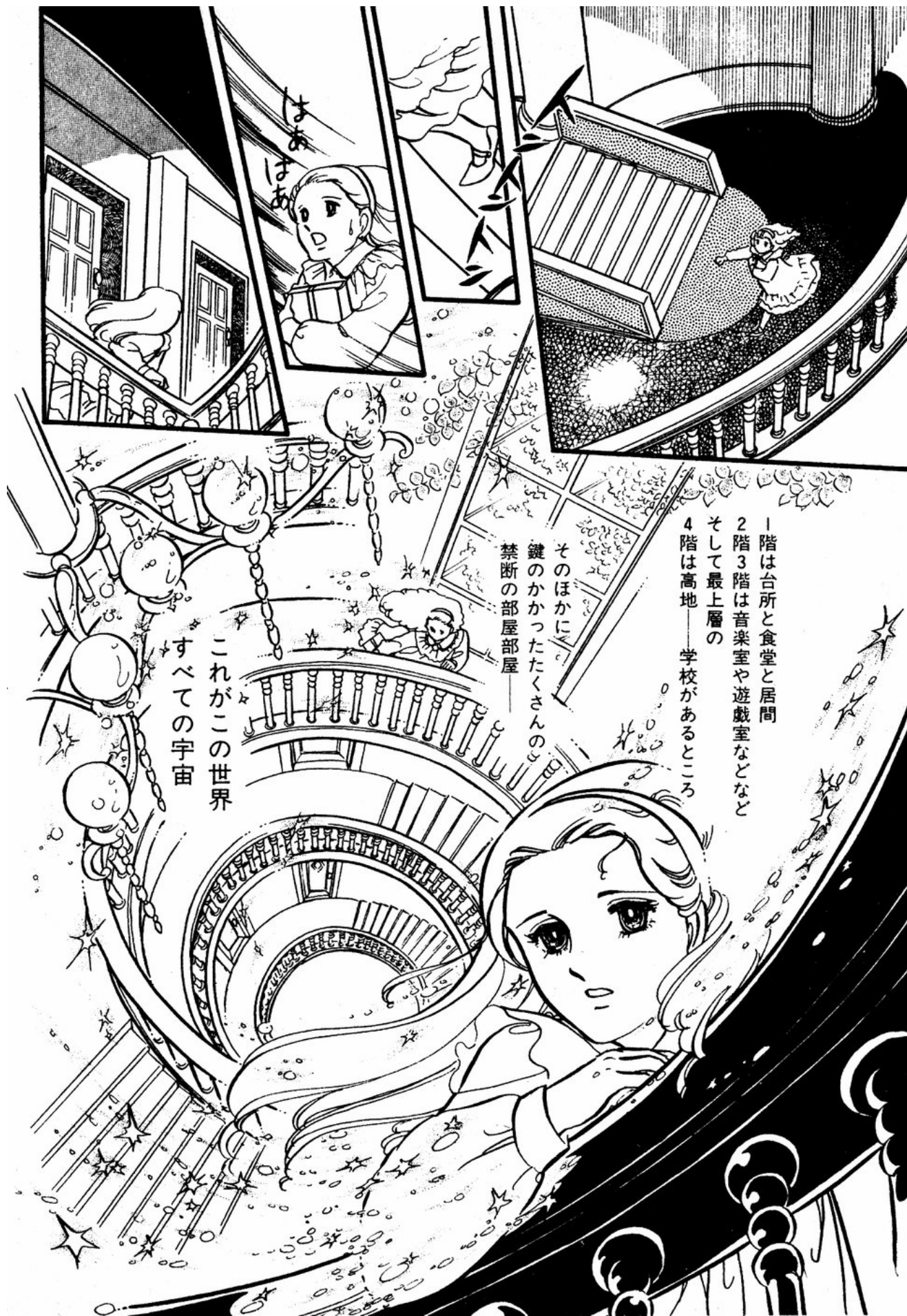
おや
ティモシー
さようなら
さようなら
元気でな
あばァよ
ビュー
パタン
パタン

そうじは
あとにおし
ローラ
夕方まで
ひとねむり
しようよ…
さあ
みんなも
…青い死の影…
ティモシー
おやすみ……
おまえを愛してるよ
すこしぐらい
かわってたって…
やはりかわいい
息子だよ…
…かあさん
いつか…もし
おまえが遠くに
いってしまってもね
…愛してるよ
…おまえが
死んだら
骨を丘にうずめて
だれにも手を
つけさせたり
しないからね…ぼうや

そして
万聖節の宵祭には
かあさんは
きっとやってきて
おまえが安らかに
ねむれるように
気をつけてあげるよ

びっくり箱

………
窓の外を
見るのは
おやめ
ドーナ
…おやめよ
………
ドーナ
ドーナ!!
…なんだって
おまえは…
ママのいうことが
聞けないの
………
さっさと
食事を
すませて
おしまい!!

…森のむこうには
ほんとうに
なんにもないの？
ママ
ママがうそを
おしえたとでも
いうの!!
あの森のはしで
世界は
おわってて
そのむこうには
なにもないのよ！
おまけに
森には恐ろしい
怪物がいて
人を殺すんだよ
なんですって⁉
…………
カン
カン
なんで
森のことなど
考えるの⁉
おとうさんと
おなじ目に
会いたい
の⁉
ママ！
あの人は…
おとうさんは…
むかし森の小道で
怪物に出会って
死んでしまったのよ！
おまえが
生まれる
まえに！
なんども話して
聞かせた
だろう？
なのに
おまえときたら
このごろ
窓にばかり
へばりついて…！

森の外には
なにもありゃしない
……………
この家だけが
世界にあるもの
なのよ
もっとも安全で
美しい場所なのよ
神さまが
お造りになった
世界は
ここだけなのよ
ドーナ
わかるでしょ
死のほかには
…なんにもだ
……ドーナ
ええ
ママ……
わかったら…
外のことなど
考えないで
さあ!
学校に
いっといで
おくれないで!
ガタン
いってきます!
バタン
死って…
いったい
なにかしら
ママはよく
話すけど
……
…死って
どんなもの?
透明なものかしら?

はあ
はあ
1階は台所と食堂と居間
2階3階は音楽室や遊戯室などなど
そして最上層の
4階は高地――学校があるところ
そのほかに
鍵のかかったたくさんの
禁断の部屋部屋――
これがこの世界
すべての宇宙

!
まえになくしたおもちゃだわ…
そうだこれびっくり箱だ
ふたがさびてて開かないんでほうっておいたんだっけ…
カタカタ
開かないなぁ
あらら
ドアが!!
禁断のドアが!
いつもは鍵がかかっているのに!!
だれか…います…か…?
はいっちゃいけないわ
でも
カタカタ
カタカタ

学校に
いかなくちゃ！…
でも…！
まいごに
なるわよ
もどって
これなかったら
どうするの
カタリ
カタ
禁断のドアよ
罰が
くだるわ！
はあ
はあ

あ……！
あ……！
あ……！

ポ――ンンンンン
あ…！
あ…！
見てはいけないものを見た！
目がつぶれる！
バタ――ン！
はあ
はあ
まだ目が見える
…罰はあたってない…

コトン
……おはよう
ございます先生
おはよう
ドーナ
おそかった
わね?
30分の
ちこくよ
なぜこんなに
おくれたの
です?
……
先生…
わたし…
先生…
あ……
この階の…
禁断のドア
が開いてたんです
——それで
な
開いてた!?
はいったの!?
ご ごめん
なさい!

ごめんなさい！
はいっちゃいけないのは
わかってました
わかってたけど
どうしても…
階段が上まで
つづいてて
のぼったんです
…もうしません…！
…ごめんなさい…先生…
のぼって…
なにか…見たでしょう
なにを
見たの？
大きな大きな
青い空間…
大きかった…
それから
森のむこうまで
緑色が
あって…
白いリボンの
上を
小さな
カブトムシが
走ってました
それだけです
すぐおりて
きました
大きくて
こわかったんです
白いリボン……
小さなカブトムシ…
…そう…そう…
先生 ママには
いわないで
………
悪いことを
したと
わかるわね
ごめんなさい
もうしません

あなたがそんなことをしたのは
――おかあさまのせいじゃない？
神経質であなたをしばりつけるので逃げだしたくなったんじゃないの？
わかりません…そうです……ごめんなさい…！
……もうしません
この世界をつくられた神さまの計画をこわしてはいけないのよ
パチ
この世界をつくった神はあなたのおとうさまです
あなたは正しく学んでつぎの支配者になるのですよ…
あなたにまい日2時間の自由時間をあたえるようにおかあさまにいっておくわ…この手紙をみせて
ママはうそをいったのかしら森のむこうは…なにもないといってたのに…
危険で恐ろしいことにかわりはありませんよドーナ…
パチ

先生……!
ママにそっくり
そう?
わたしは…とても年よりなのよ!
さあ! 授業をはじめますよ ドーナ!
読みなさい
…はじめに神ありき
神は宇宙をつくりたまい…
世界を…大地を…国々を
…妻と子とを…つくりたまい…
正しく学ぶということはなにかしら
森のむこうの危険とはなにかしら
あれは大きい…死とは大きなことかしら……

タタタ
ただいま！
おかえり！
ハア
ハア
ハア
ママ？
どうしたの？
息きらして
息？ ああ
きれてるわね
それより
びっくりさせる
ことがあるよ
なんだと思う？
だって まだ
10か月しかたって
ないわ！
奇跡がおこって
早くなったのさ！
あしたおまえは
12になるんだよ！
まあ
ママ！
あしたは
おまえの
バースデーさ
ドーナ！
ホホホホ
ママ！

――ふしぎ
そんなに急に
バースデーが
くるなんて…
なにか世界の
事情が
かわったの
かしら?
これからは
きっと…
わたしの
バースデーは
だんだん早く
なってくる
バースデーに
先生はおよび
するのかしら?
ううん
先生とママは
会ったことがない
6つのときの
バースデー
プレゼントは
先生のいる
高地の教室
だった
7つのときは
低地の
遊戯室のドアを
あけてもらった
8つのときは
音楽室
9つのときには
台所…
10のときには
プレイヤーのある部屋
11のときには
四角い庭園
それでもまだまだ
この世界には
禁断のドアが
100もある
でもそのすべては
わたしが
20歳になったとき
わたしのものに
なるって
ママはいってた

禁断のドア…
あそこも…？
あのびっくり箱は
どこに落ちたかしら
しらない空間に
なげだされた……
コトコト
コト
コトコト
コト
わなにかかって
箱の中に
とじこめられた
おもちゃの
さけび
あれはどこに
飛んでったろう！
白いリボンを走る
カブトムシに
ふみつぶされた
かもしれない……

ハッピーバースデードーナ！
わあママ！まっ白なケーキ！
台所の魔法でつくったのね!!
そうだよ！きょうは最高にたのしくすごそうじゃないの！
ママきれい！
ありがとう古いドレスさ
さあおいで！新しいプレゼントだよ！
こんどは…どんな部屋なの？
ここ…？
せまい部屋ね
おはいりさ
バタン
ガックーン

キャアアア
ママ！
うごく！
さわぐんじゃ
ないのよ！
ママ！
ほら
ドーナ
あ…！
高地だわ！
どうして？
ママ！
この部屋は
うごくのさ
真上に飛びあがる
のだよ
週にいちどは
これをつかって
学校に飛んで
いいんだよ
ママ！

ママ！
ママ　すばらしいわ！
思いもよらないことがいっぱいあるの　世界には
そう　そうさ　ドーナ
…世界は奇跡でいっぱいさ　おまえは年ごとに秘密を手にいれる
おまえは年ごとに世界が好きになるよ　ドーナ
ママ　きょうはとっても陽気　わたしもうれしい
ビクー！
怪物の声？
この庭にはこないよ！塀がこえられやしないからね
見たことある？怪物って
あるよ
およし　そんな話
恐ろしいのだから

ママもっと
レコード聞く?
さああしたも
学校でしょ
…帰って
おねむりよ
え…ええ
おやすみなさい
いいえ
ママ?
シャンパンの
ビンを…
落としたの
おやすみ
めずらしい
ママ
酔ってる…
ああ きょうは
おもしろかった
広がってゆく
世界…
──怪物はいつか
おしつぶされて
死んでしまう
かしら…?
…死んでしまうと
どうなるのかしら
……

パパは死んだまま
もどってこないけど
なぜかしら？
遠くへいきすぎたの
かしら？
じゃあ…死って
長い旅のような
ものかしら……
あ
先生の手紙
ママにわたすの
わすれてた！
ダッ
──ママ！
マ…

どうしたの？ ママ？ ねむってるの？
ママ！ おきて！
ママ……!?
ママ！ どうしたの…！ おきて…！ あたし学校へいかなきゃ……… ねえママ！
……ママ

先生!
先生!
ガチャ
ママがおきないんです
先……
先生……!
どこ……!
先……
先生の服だ…
めがね
手袋
かたっぽ…
化粧ドーラン

せんせ――い…
ガチャリ
Pi!
ガク
うごく部屋だ！
おちる！
ガタン
先生！
おちてゆく

居間だわ…
ママ…！
あ……！
ママ…！
先生の手袋のかたほうだわ…
どうして!?

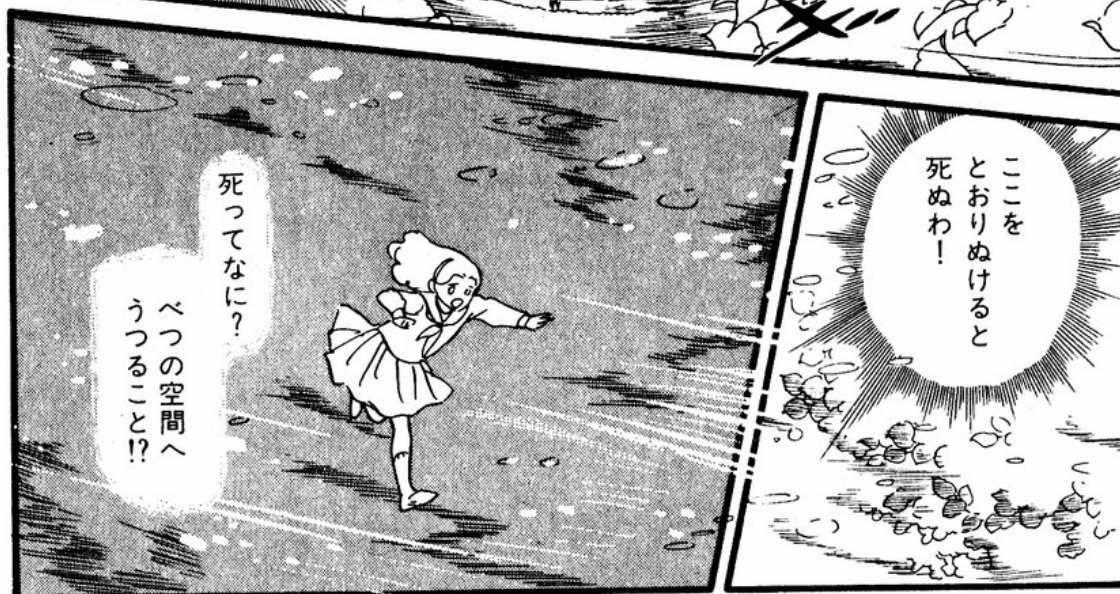
先生どこ!?
なぜいないの?
先生
ママおきて!

チーーン
…どこにも
いないと
いうことは…
先生はきっと
外にでたんだわ…
そして
まいごに
……なったんだわ
つれもどして
ママをおこして
もらわなきゃ…
ガタン
どうしよう…
森には
怪物がいる

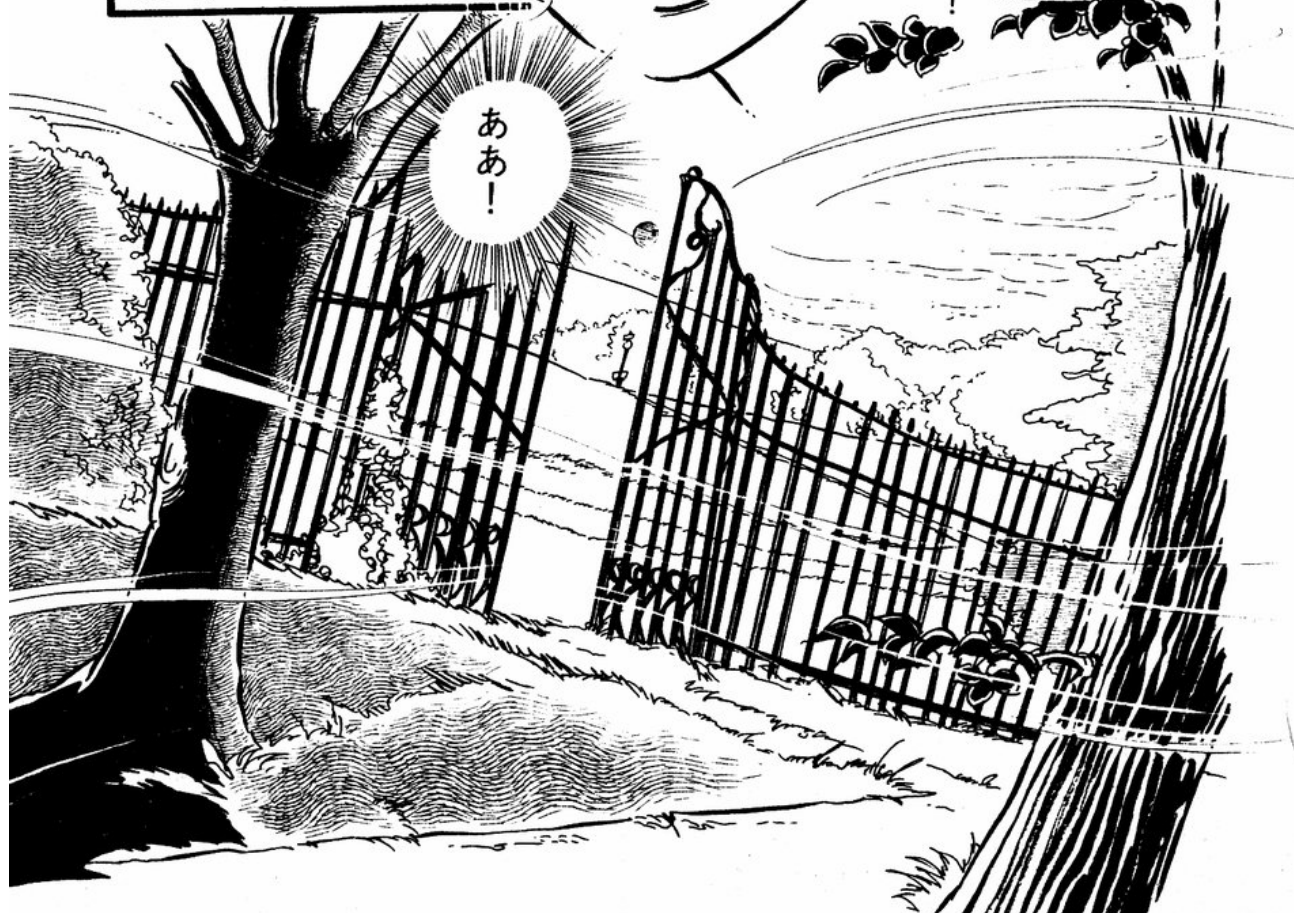
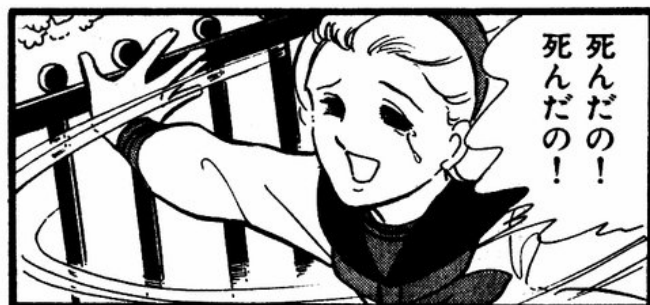
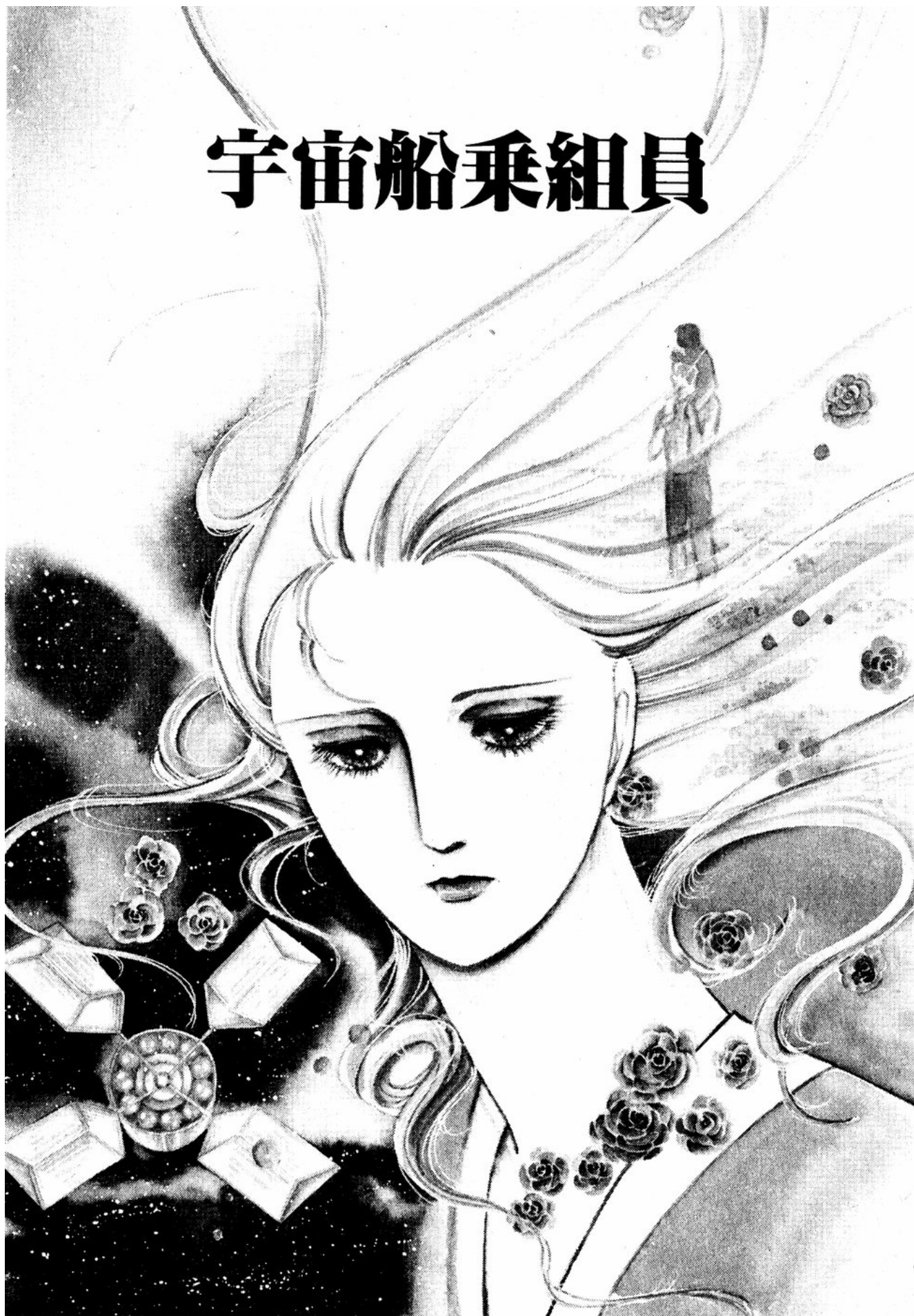
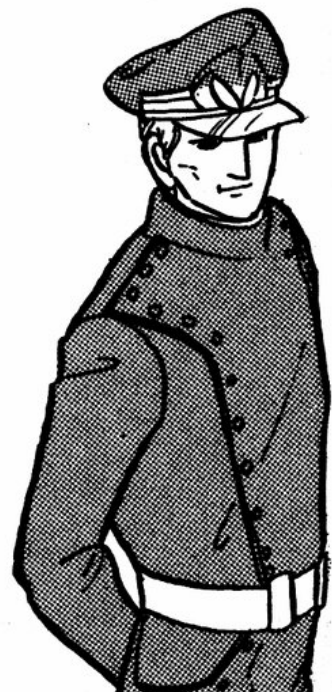
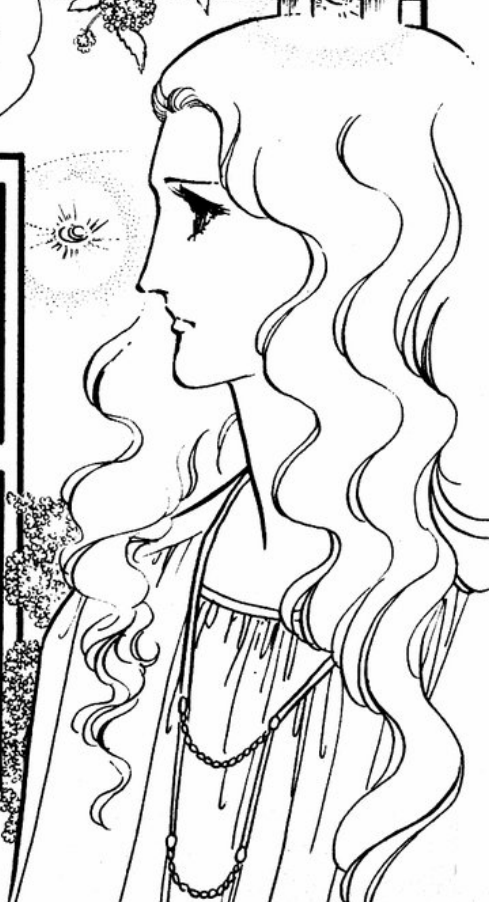
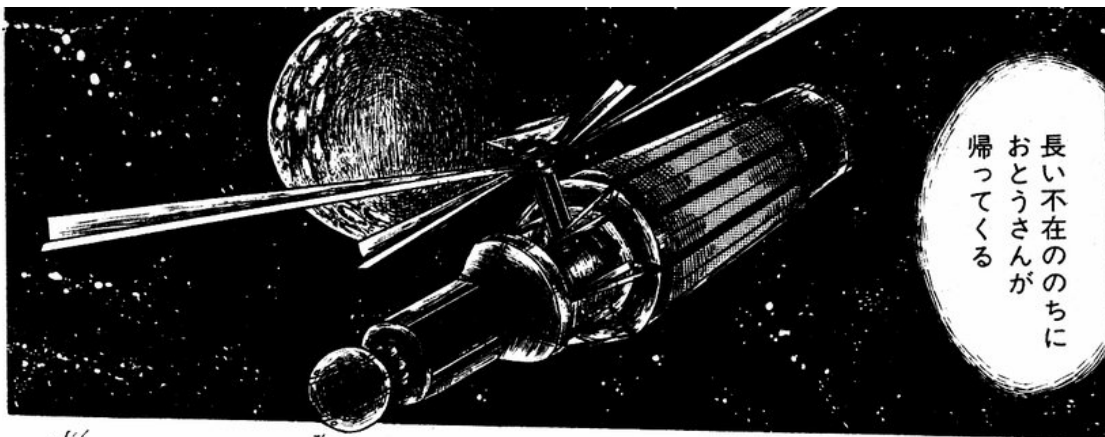
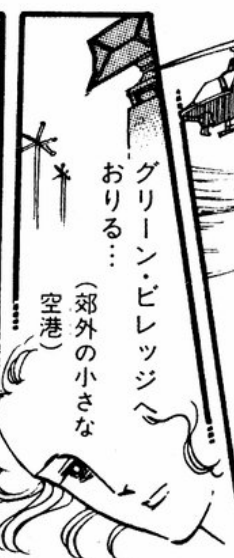
おとした
びっくり箱だ！
あんなとこに！

わなにかかって
とじこめられた
クラウンだ！
——笑ってる！

ガチャン
先生…！
先生！
先生——!!

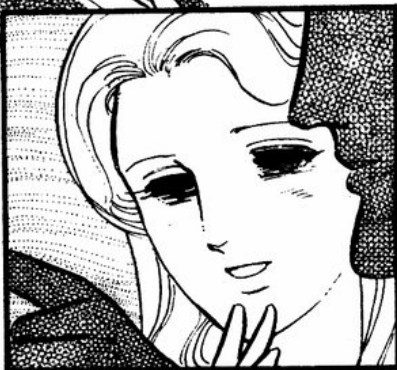
あれ？
あれは家!?
わたしの
世界？
わたしの宇宙!?
――なんて
小さい――
どうするの？
帰るの？
帰っても
ママは
おきないわ
台所の
魔法も
うごかない
先生も
いない
死だ
ここを
とおりぬけると
死ぬわ！
死ってなに？
べつの空間へ
うつること!?

べつの
みどりの
空間？
あの
広い
広い
大きな
ところへ
!?
苦しい！
わたしは
死ぬわ！
死んでしまう！
ああ！

なんですかね？
あの女の子は
そこら中のものに
さわりまくって…
はあ？
さて…
おっと
…おじょうちゃん
元気だね
きゅっ
わたしは
死んだの！
死んだの！
死んだの！
死んだの！
死ぬって
なんてすてき！
すてきなの！

わたしは
死んだの！
しらな
かった！
死ぬって
こんなに
すばらしい
ことなの！
あれが
最近流行りだした
子どもの遊びでしょうな？

宇宙船乗組員

ねえ ダグ
なんとか
力をかしてね…
——こんどこそ
おとうさんが
帰ってきたら
もうにどと
出発しないよう
に！
……うん
おかあさん
…でも
うまく
いくかな
……
むずか
しいよ
おかあさんも
ねむれない
ぼくは今夜は
ねむれない

長い不在ののちに
おとうさんが
帰ってくる
そら　いま！
おとうさんの宇宙船が
わが家の真上をとおる！
（気がする）
ダグラス！
元気か？
リリー！
いま帰るよ！
おとうさんだ！
おとうさんが
帰ってくる！
いまごろは
宇宙船が
着陸した
（スプリング
フィールドだ）
書類にサイン
している…
（帰宅届けだ）
ヘリコプターに
乗っている…
（山をこえる）
グリーン・ビレッジへ
おりる…
（郊外の小さな
空港）
おとうさんは歩く――
（タクシーに
乗らない）

コッ
コッ
コッ
!!
コッ!!
カチリ
ドアが開く!
―ドアがおとうさんを
認めて開く…
帰ってきた…!
パタン…
帰ってきた
あれは
どこだろう
居間だ
あった
おとうさんの
黒い箱…

おとうさんの
制服…
宇宙船
乗組員
の服だ……
この服を
工作でつくった
遠心分離機に
いれて回すと
こまかい粉が
レトルトに
落ちこむ
こいつだ
そら
ごらん…
遠い星の粉
火星の鉄のにおい
金星の蔦のにおい
水星の炎
乳色の月…
——おっと制服は
もどしておか
なけりゃ
洗濯屋が
くるだろうから
この粉を
だいて
ねむろう…

おはよう
ダグ…
よく
ねむれた
かい？
うん
とっても
おとうさんは
そこにいる
その様子は
3か月も
るすにしてたとは
思えないほどだ
制服はもう
洗濯屋から
もどっている
きれいに
なって
やっぱり
夜のうちに
ホコリを取って
おいて
よかった…
…ねえ
あなた
芝を刈って
くださる？
ガタ
いいとも
！
ほかには
？
ええ
台所のプラグが
こわれてるの
修理して
くださいな
そうね…
…それから

芝刈り
家具の修理
みんなとっておくのだ
おとうさんが帰ってきたときのために
その日はおとうさんは空なんか見ない
おかあさんは少女のよう
でも2日目にはおとうさんは星を見あげる
3日目にはおかあさんは泣く
4日目の朝おとうさんは出発し…
おかあさんはおきてこない
おきてきてもなにも食べない
これのくりかえしだ…
でもきょうはまだ1日目だ
ねえ!
町へでてテレビの移動展示会見ようよ!
ようし!
おとうさんといっしょだ
おとうさんといっしょに笑ったりうなづいたり
おかあさんも
ぼくは制服のほこりを取ったけど
おかあさんはなにかおみやげをもらったの…かな…?

…そうだ
まえに…
庭におみやげの
火星の花を
うえたっけ
でも
おとうさんが
出発して
一か月も
すぎて
その花が
咲きだし
たとき
おかあさんは
根こそぎ
刈りとって
しまった
あの――どんな感じ?
おとうさん
宇宙に飛びだして
ゆくのは
うん――
一生のうちで…
あれほどすばらしい
ものは……

いや！たいして…
つまらんよ！
きまりきった
もんだしね
ダグ
もう…
帰りましょう
…おかあさんに
せつないおもいを
させた
ごめんなさい
でもおとうさんは
いつもまた
いってしまうね
習慣さ
ごめん
なさい
でもその夜
またやって
しまった
ねえ
おとうさん
お願いが
あるんだけど
なんだいダグ
いちども
制服姿
見たこと
ないんだ
もの
——制服を着て
みせて
ダグ…
そいつは
ねえ
ねえ
ねえお願い
じゃ……あ
これきりだよ
うん！

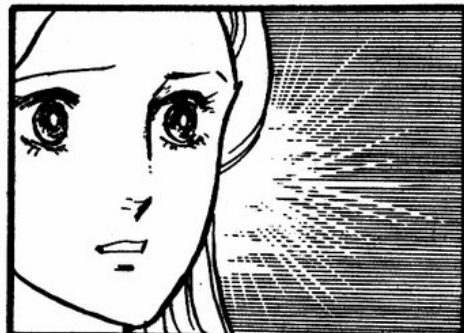
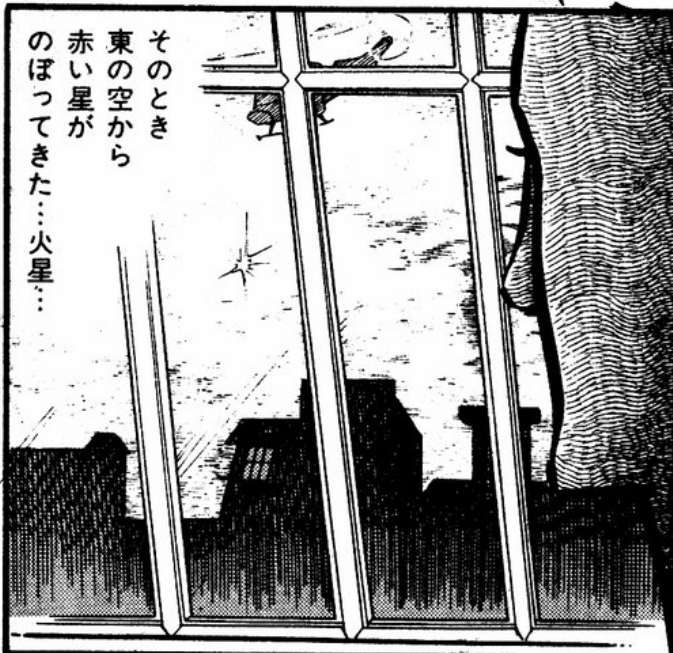
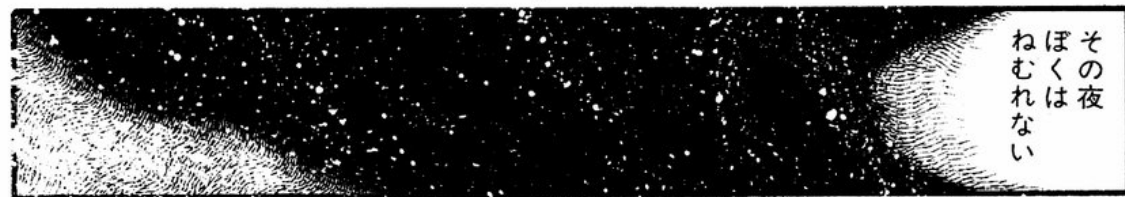
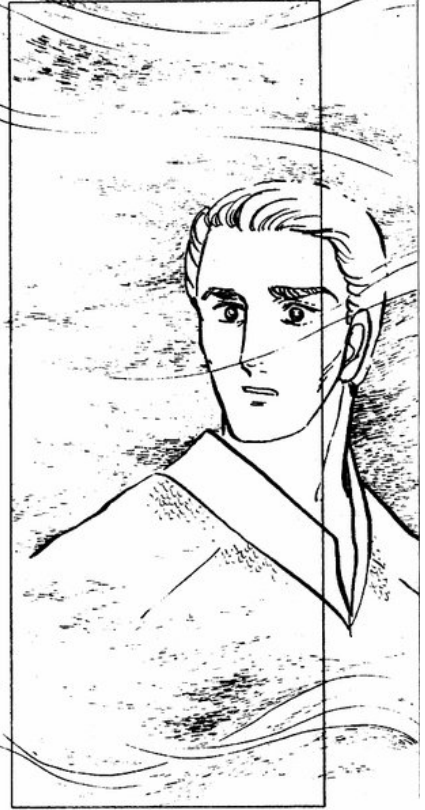
ゴメンネ
……
ちっとも協力してくれないのね
着てきたよ…
どうだい？
ぐるっとまわってみせて……
…いいながらおかあさんは
おとうさんをうつろに見る
影を見るみたいに
そこに──いないかのように──

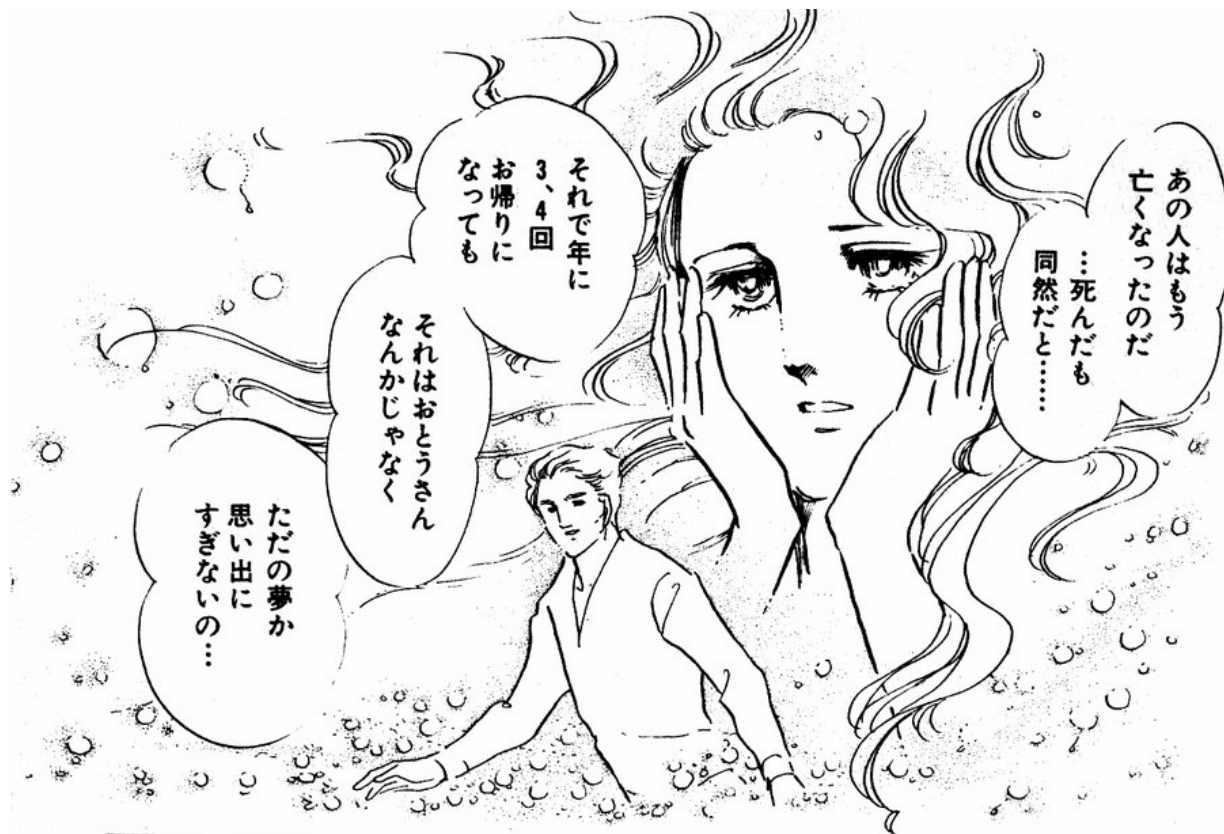
ふう――！
翌日
翌々日
ぼくらは
海に出かける
おとうさんと
いい日だ
ねえ
おかあさんも
ああ
太陽
土
潮風――
…うん
いいな…
船に乗ってると
なつかしくなるで
しょう
おとうさん
草や大地やぼくや
おかあさんの手料理
おまえ長く
泳げるように
なったなダグ
そうだよ！ それに
高とびだってクラス一だよ！
おとうさんは
遠い宇宙から
おかあさんに
電話など
かけない――
帰りたくなり
つらくなる
からだと
いう

なァダグラス…
約束しておくれ
おとうさんと
…うん…
宇宙船乗組員に
ならないと
いうことだ…
…おとうさん！
ぼく
それがどんな
ものか
おまえにはまだ
わからない
宇宙へいくたびに
地球に
帰りたくなる…
地球へ帰ると
宇宙へ
いきたくなる
おまえを
そんな生活の
とりこに
させたく
ないんだ
……ぼくは
ずっと
宇宙船乗組員に
なりたいと思って
いたんだ…おとうさん
おとうさんは
宇宙へいくたびに
こんどこそ
帰ったら
家に落ちつこうと
思うんだ
とどまろうと
なんとか……
努力している
んだ…

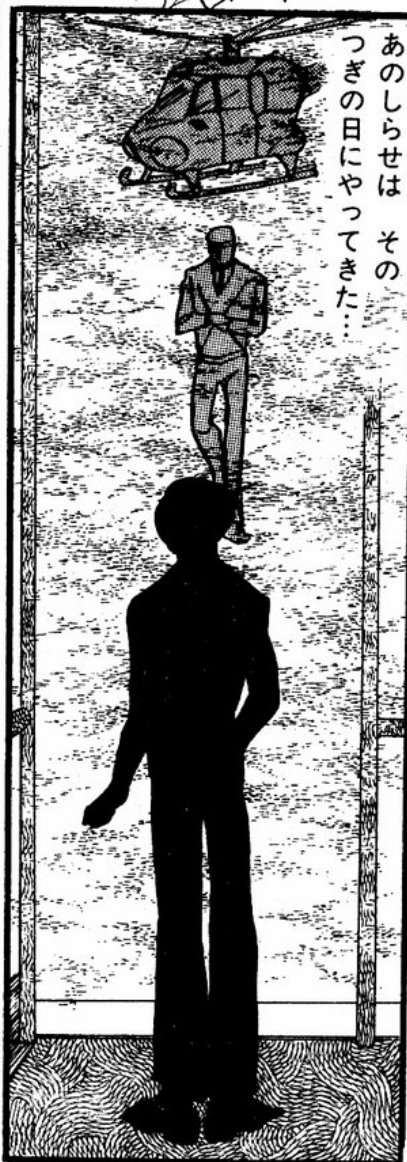
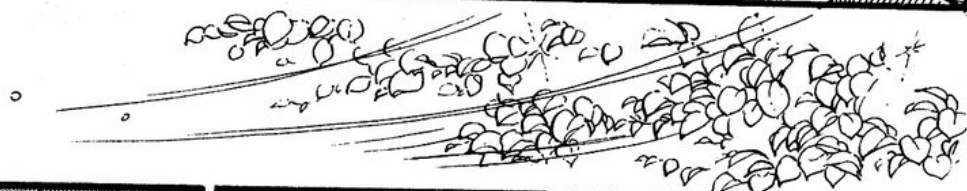
…でも今夜
おとうさんはポーチから
オリオン座を見るんだ…
そして
出発し…
そして
おるすのあいだは
おかあさんとぼくは
おとうさんの話を
しない…
おとうさんのように
ならないって
約束しなさい
…………
わかった
………
おとうさんが
いなくなると
星のあかりが
強すぎて
──おかあさんは
ねむれない
ピュウ！
これは
どうした
ごちそうだい！
きょうはうちの
クリスマスよ
そのころ家には
いらっしゃら
ないんでしょ
ヨ──！
七面鳥
じゃないか！
ソール・ムニエル
フリカッセ
シャンピニオンの
白ワイン煮
ホワイト
シチュー！

……フウン
…リリー…
食卓の
落としあなだ!
ねえ…
リリーや…
おとうさんは
つかまった!
なあに?
もうこれで
おとうさんは
おりから
でられない!
さあ——
いまいうぞ!
にどと宇宙に
でかけないって
家にずっと
いるよって——!
…あの
そのとき
東の空から
赤い星が
のぼってきた…火星…

………ああ
………さあ食べようか
クルッ
…パンをとってこなくちゃ
おかあ…さん
その夜ぼくはねむれない
おとうさんもねむれない
……ねえおとうさん
………

宇宙では
人が死ぬのに
どれぐらい
ちがう死に方が
あるの……?
隕石がぶつかる
空気が船から
もれる
彗星に道づれに
される
太陽
月
アステロイズ
プラネトイズ
放射能…
埋葬するの?
さあ…
数えきれない
ほどだよ
震盪症
狭窄症
破裂症
遠心力
加速度の
過不足
死体は
見つからない
ことが多い
10億マイルも
遠くへ飛んでいって
しまう
通称
動く墓場だ
永遠に
宇宙を
さまよう
んだ
宇宙では
……
即座だ
ぐずぐずしない
あっというまに
死んでいる
即死だ
それっきり
だ…

チチュ
チチチュ
おとうさん！もうでかけるの…
ダグか…
腹を決めたよ……
こんど帰ってきたら…それきりずっと家にいるよ！
ほんとう!? おとうさん！
ああ！3か月したら帰ってくる
おかあさんにそういっといてくれ
おかあさんはどんなにかうれしいだろう！
もううつろにはおとうさんを見ないだろう——
…ねえ…おかあさんはときどきおとうさんを見ても見えないいみたいなふうだね…？
…10年前にね
おとうさんが…
宇宙へいってしまったとき思ったのよ…

あの人はもう亡くなったのだ
…死んだも同然だと……
それで年に3、4回お帰りになっても
それはおとうさんなんかじゃなく
ただの夢か思い出にすぎないの…
夢や思い出なら途中で消えてもたいしてつらくはないしね……
…でもそうでないときは…
そうでないときは…もうやりきれないのよ——
生きていらっしゃるかのようにパイを焼いてさしあげると
それがまたつらいのよ
いっそもうおとうさんは10年前に亡くなっててにどと会えないのだと思ったほうがましなの……
こんど帰ってきたらずっと家にいるっていってたよ…！
…いいえ…

…10年前に
わたしこう
思ったの…
かりに
おとうさんが
金星で
亡くなったら
どうだろう…?
もうにどと
金星など
見るに
たえなかろう……
かりに
火星で
お亡くなりに
なったら…
夕方あの星を
東の空に見たら…
もうすぐに
家にはいって
戸にかぎを
かけてしまうわ
木星か
土星か
海王星で
おなくなりに
なったら?
そういった星が
でている晩には
もう
星なんか
まっぴらって
気になるわ
……
…うん…
…でも
おかあさん

おとうさんは
こんどはきっと
生きて
帰ってくるよ
夢じゃ
なくさ
あのしらせは　その
つぎの日にやってきた…
おかあさん……！
…なにもいわないで！

おかあさんは
泣かなかった…
おとうさんの命を
うばったのは
それは
火星でも
金星でも
土星でも
なかった
星を見て　だから
おとうさんのことを
思い出す必要はない
おとうさんの宇宙船は
太陽の中に落ちたのだ……
長いあいだ
おかあさんは
昼間ずっと
ねていて
外に
でなかった
ぼくらは
真夜中におきて
朝食を食べ
午前3時に
昼食を食べ
ディナーは
午前
6時に
とった
ふたりで
オールナイトを
見にでかけ
あけ方
カーテンを
ぴったりと引いて
ねた

長いあいだ
ぼくらが
外へ散歩に
でかけるのは

ただ　雨降りの
太陽のでていない日だけだった

解説『ウは宇宙船のウ』

評論家 中島 梓

レイ・ブラッドベリは私が最初に好きになったSF作家であり、いまでもいちばん好きな作家のひとりである。

『十月はたそがれの国』にはまったくいかれてしまった。『火星年代記』はいうまでもない。ブラッドベリの書いた、すばらしい、美しい、ふしぎな寂しさと静けさを湛えたたくさんの短編の中でも、ことに好きでたまらなかったものをあげると、『みずうみ』、『万華鏡』、『ロケット・マン』、『サルサの匂い』、『大鎌』、『世にも稀なる趣向の奇蹟』、『草原』、『ロケット』、『壜』、『小さな殺人者』、『風』、『ある老母の話』、『かくてリアブチンスカは死せり』――きりがない。『霧笛』も好きだし、『集会』や『四月の魔女』の系列のものも好きだった。

ことに夢中になったのは、しかし、『みずうみ』と『ロケット・マン』（私の読んだハヤカワの本では吉田誠一さんがそう訳していた。いまでも、萩尾望都さんが『宇宙船乗組員』にふられた、『スペースマン』という、よりモダンなことばでなく、『ロケット・マン』という、古風でゆたかなイメージのほうが、私にはぴったり来る感じがある）だった。恥をしのん

で白状してしまうと私は中学・高校時代にはせっせとマンガをかいては投稿していたが、怖いもの知らずにも、すっかりいかれていた『みずうみ』と『ロケット・マン』の二つを、何とかマンガ化しようとこころみたことさえもあるのである。この恐ろしいくわだては、私の救い難い絵音痴のために中絶したが、しかしそれが挫折してまことによかった。もし、うかうかと、何とかマンガ家の端くれにでもなっていたとしたら、私は結局、何とかしてブラッドベリのその美しい寂しい世界をマンガにしよう、という野心を捨てられずに持ちつづけ、その結果として、萩尾さんのこの「ブラッドベリ傑作劇場」を読んで愕然とし打ちのめされ再起不能、という有様になるのは確実だったからである。

しかも萩尾さんの選択には、私があれほど「これはどうしてもマンガにしなければ」と思いつづけていた『みずうみ』も『ロケット・マン』も、『霧笛』まで、すべて入っているのだ。有難いことに私はマンガ家になりそこねた。そのおかげで、私は、萩尾さんの選択にショックをうけるかわりに、「ああ、モーさまも同じ作品を好きなのだ」と、ひとりで悦にいってニタニタしていられる。

それに、ブラッドベリをマンガ化するのが萩尾さんだということ、萩尾

さんが選んだのがほかならぬブラッドベリであったということ、これは、まことによいことである。おかげで私たちは、私のとんでもない絵でも、他の誰かれの絵でもなく、ブラッドベリをやるならなるほど彼女しかいなかっただろうという、萩尾さんの美しい絵で、マンガ化されたブラッドベリの世界にひたりきることができる。

萩尾さんの絵は、しだいに何か、すきとおって、言うならば無機的な静けさ、といったものを湛えるようになってきた。それはあるいは、マンガ、という動的なもののためには少し考えてしまうことかもしれないが、しかし、その静けさと清澄さは、ブラッドベリのもっている寂しいたそがれの世界とほとんど同じ性質のものであり、たぶんその絵なしには、誰も『みずうみ』の、あの夏のさいごの悲しさや、『ロケット・マン』の透明な悲哀を再現することはできなかった。

考えてみると、私の好きな『ポーの一族』の『グレンスミスの日記』や『メリーベルと銀のバラ』、『シャーロック・ホームズの帽子』なども、ブラッドベリの世界と共通する、秋の寂しさ、たそがれの透明さをはじめから色濃く持っていたようだ。その意味では、この短編集は、モーさま故郷へ帰る、とでも言い得る、そんな企画だったのかもしれない。

ウは宇宙船のウ

集英社漫画文庫　0171-612030-3041

昭和53年12月31日　初版発行　★定価はカバーに表示してあります

著者　レイ・ブラッドベリ
萩尾　望都
発行者　堀内　末男
発行所　株式会社 集英社
〒101　東京都千代田区一ツ橋2－5－10
電話　東京(03) 238-2781

印刷所　大日本印刷株式会社